明日をひらく地域活性化のための情報誌

地域づくり 本編

2022
5
ISSN 1340-8917



令和３年度ふるさとイベント大賞

本誌は、宝くじの社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです

地域づくり　2022-5

CONTENTS

1　巻頭エッセー／浜松市の持続可能な都市経営　鈴木康友（静岡県浜松市長）

特集

令和３年度 ふるさとイベント大賞

第26回ふるさとイベント大賞表彰式・2022地方創生フォーラム in 東京を開催　2

大賞（内閣総理大臣賞）〈１団体〉
●大分国際車いすマラソン【大分県】　4

最優秀賞（総務大臣表彰）〈１団体〉
●山形名物日本一の芋煮会フェスティバル【山形県山形市】　6

優秀賞〈３団体〉
●SHIROFES. ―踊れ、遊べ、弘前でも世界でも。―【青森県弘前市】　8
●第70回となみ チューリップフェア【富山県砺波市】　10
●音信川うたあかり【山口県長門市】　12

ふるさとキラリ賞〈２団体〉
●『オペラ「石見銀山」』の制作、継続公演 祝「日本遺産認定」オペラ石見銀山 オールキャストコンサート【島根県大田市】　14
●第24回 いわみ子供神楽フェスタ 2021【島根県浜田市】　16

選考委員特別賞〈１団体〉
●全国「かまぼこ板の絵」展覧会【愛媛県西予市】　18

【特集編では大賞・最優秀賞ほか、計26表彰を紹介～特集編のみに掲載される表彰は以下の通り】

●次点

第37回いわみざわ百餅祭り【北海道岩見沢市】
撮りフェス in 室蘭2021【北海道室蘭市】
沼田町夜高あんどん祭り【北海道沼田町】
メルヘンおやべ源平火牛まつり【富山県小矢部市】
近江中世城跡琵琶湖一周のろし駅伝【滋賀県米原市】
瀬戸内国際芸術祭2019【香川県】
書道パフォーマンス甲子園【愛媛県四国中央市】
国際渓流滝登り in ななやま【佐賀県唐津市】
きくち夏まつり　菊池白龍【熊本県菊池市】
2021吹上浜砂の祭典【鹿児島県南さつま市】
古利根川流灯まつり【埼玉県杉戸町】
山古志 棚田・棚池あかりのページェント【新潟県長岡市】
海で水球【新潟県柏崎市】
金沢市デジタル工芸展【石川県金沢市】
赤目渓谷『幽玄の竹灯』【三重県名張市】
FactorISM ～アトツギたちの文化祭～【大阪府八尾市】
見ぬ友と心結ぶのろしリレー 2020【広島県広島市安芸区】
祐徳門前商店街イベントさが祐徳ｅスポーツ大会【佐賀県鹿島市】

レギュラーリポート

20 移住・定住・交流推進支援事業　福岡県田川市
チャレンジャーをプロに育成する官民金連携事業　洲崎絵梨奈

22 インタビュー
エンターテインメントの見地から 地域資源を磨き上げ、発信、拡散する　吉村 隆

24 世界遺産　北海道・北東北
日本初、先史時代の遺産が世界遺産に　岡田康博

26 2021年度 地方創生セミナー
地域商社が高める地域の価値とその先

28 首長の思い
新たなまちの変革　森　哲男（兵庫県三田市長）

グラビア
27 都道府県漫遊　【愛媛県】
手前みそですが…　【香川県土庄町】

表紙　初夏の風物詩「安芸のはやし田」



歌大工の歌に合わせて
早乙女が苗を取り、仕分けて、
田植えの準備を進めます

（広島県安芸高田市）

広島県安芸高田市の「原田のはやし田」と同県北広島町の「新庄のはやし田」は、「安芸のはやし田」として国の重要無形民俗文化財の指定を受けました。

はやし田は、牛による田の代掻きから始まり、歌大工の田植え歌に合わせて囃子方と早乙女が掛け合いながら苗を植えていく田植え行事です。原田のはやし田は独特な田植え歌「原田節」が特徴的です。元々は「さんばい」という田の神を迎え、豊作を祈る儀式でしたが、重労働である田植えを歌い囃すことで効率を高め、また娯楽としての楽しみに変化させて発達、今日まで継承されてきたものです。毎年市内外から多くの見学客が訪れ、その歌と囃子に心を躍らせながら、初夏の風物詩として親しまれています。

※原田のはやし田　毎年5月最終日曜日
安芸高田市高宮町にて開催
※新庄のはやし田　毎年5月第2日曜日
北広島町新庄にて開催
※新型コロナウイルス感染症拡大の状況により中止になる可能性があります。

問い合わせ先＝安芸高田市教育委員会生涯学習課（0826・42・0054）
（写真提供＝安芸高田市教育委員会）

ESSAY

巻頭エッセー

浜松市の持続可能な都市経営



静岡県浜松市長 ● 鈴木　康友

浜松市は２００５年に、天竜川以西の12市町村が合併をして、２００７年に政令指定都市に移行いたしました。その結果、面積は全国２番目の１５５８平方キロとなり、伊豆半島全体より１４０平方キロも大きくなりました。市域面積の７割を占める森林や天竜川、浜名湖、太平洋など、あらゆる自然特性を有しており、また第１次産業から第３次産業まで全ての産業が盛んであることから、まるで日本を縮めたような都市だということで、都市工学の権威である豊橋技術科学大学前学長の大西隆先生が、「国土縮図型都市」と命名してくれました。

また浜松市は政令指定都市の中でも際立った特徴を有しています。それは県庁所在地であるとか、大都市圏に位置しているといった有利な条件がないことに加え、市域面積の約半分が「みなし過疎指定」を受けていることです。大都会のイメージの強い政令指定都市ですが、浜松は異質です。インフラを大量に抱えていることも特徴で、市が管理している道路総延長は約８５００キロで断トツ日本一、橋も約６０００橋あります。ちょっと想像しただけでも、行政コストがかかりそうだということがお分かりいただけると思います。

そこで私は、「国土縮図型の浜松の経営がうまくいけば、日本のモデルになれる」と考えており、この考えを市政運営の基本に据え、終始一貫「持続可能な都市経営」に努めてまいりました。また市長就任時には、尊敬する上杉鷹山公の治世を目指すことを宣言しました。鷹山公は、破綻寸前の米沢藩の財政を行財政改革で立て直すとともに、さまざまな産業を興し、藩を富ませました。鷹山公の功績を一言で表せば、「出」を抑え、「入」を増やしたことです。そこで私も行財政改革と産業政策に力を注いでまいりました。

行財政改革では、かつて中曽根行革の推進力となった土光臨調のような「行財政改革推進審議会」という第三者機関を立ち上げ、徹底した行革の推進計画を提言して頂きました。市はこの提言を着実に実行した結果、政令指定都市の中でも、随一の健全財政を築くことができました。

一例を紹介します。自治体が開示を義務付けられている財政健全化判断指標という指標がありますが、その中で特に重要なのが、将来負担比率という指標です。これは、市債などの市の債務に加え、外部団体への債務保証などを加えた全ての財政リスクから市が使える充当可能財源を引き、それを財政規模で割ったもので、この値が大きければ大きいほど、将来の財政リスクが高いということになります。浜松市は２０１４年にこの指標がマイナスに転じました。マイナスということは、財政リスクより充当可能財源の方が多いことを意味します。２０１９年に岡山市がマイナスになるまでは、政令指定都市の中で、マイナスは浜松市だけでした。現在はマイナス30％くらいですので、圧倒的に黒字の健全財政だと言えます。従って世界的格付け機関であるムーディーズの格付けでは、最も高い評価を得ています。

「入」である産業政策にも力を入れてまいりました。紙面の制約上、全容の紹介は割愛しますが、最近力を入れているのが、将来を見据えたスタートアップの育成や誘致です。元々地場の町工場からスタートしたスズキやホンダ、ヤマハなどが、世界的な企業に成長した産業の歴史を考えれば、浜松は「元祖スタートアップの街」だったと言えます。その浜松から再び有望な企業を次々と生み出し、さらに産業を飛躍させることを目指しています。一昨年は国から「スタートアップエコシステムグローバル拠点都市」の認定をいただきました。全国４地域の一つとして選ばれた中部地域の核都市として、名古屋市とともに選ばれたもので、今後は市の発展のみならず中部地域を牽引する都市としても頑張ります。

尊敬する上杉鷹山公の築いた治世のように、出を抑え、入りを増やす努力を続けることで、引き続き持続可能な都市経営に努めてまいります。

第26回ふるさとイベント大賞表彰式・2022地方創生フォーラム in 東京を開催

地域活性化センターでは、2022年3月8日（火）に「第26回ふるさとイベント大賞表彰式」と「2022地方創生フォーラムin東京」を開催しました。今回は表彰式の様子や講師の講演などをユーチューブで同時配信し、多くの方にご視聴いただきました。

■プログラム

13：00～　第26回ふるさとイベント大賞表彰式
14：10～　2022地方創生フォーラム in 東京「『公民連携』×『地域資源』による地域活性化～豊かな自然を地域の魅力に～」

【基調講演】後藤 健市 氏（株式会社スノーピーク取締役、株式会社スノーピーク地方創生コンサルティング代表取締役会長）

【事例発表】山口 祥義 氏（佐賀県知事）
遠藤 充儀 氏（株式会社コスモスイニシア執行役員）



大賞「大分国際車いすマラソン」の表彰



表彰式の様子



表彰式出席者などによる記念撮影

第26回ふるさとイベント大賞の概要

「ふるさとイベント大賞」は、全国各地で開催されている地域の活力を生み出すイベントを表彰し、紹介することによって、ふるさとイベントのさらなる発展を応援することを目的に設けられた賞です。

今回で26回目を迎え、第25回までに、186の個性豊かなイベントを表彰しています。

今後も、ふるさとイベントの創造・発展を促すことで、地域固有の風土・伝統・暮らしを守るとともに、地域に対する愛着と誇りを育み、内外との交流につながる地域の活性化を目指しています。

第26回ふるさとイベント大賞は特別にこれまでを振り返ることとし、第1回～第25回の各受賞イベントおよび第21回～第25回の次点イベントついても対象としました。

●応募対象イベント

下記の①、②いずれかに該当するイベントを対象とする。

①第1回～第25回までに大賞、最優秀賞等各賞を受賞したイベント
※今年度の開催の有無は問わない。ただし、来年度以降継続性があるものとする。

②第21回～第25回までの次点イベント
※今年度の開催の有無は問わない。ただし、来年度以降継続性があるものとする。

③2020年7月1日から2021年6月30日までに市区町村（広域を含む）で開催されたイベント
※現在の状況を考慮し、オンライン開催も対象とする。また、規模の縮小や内容の変更などがある場合でも、イベントを継続することで、そのイベントが本来持つ意味を伝えようと創意工夫を凝らしているものも含む。ただし、継続性がなく1回の開催のみで終了するイベントは対象外とする。

●選考過程

イベント主催団体から、市区町村等を通じ、都道府県へ応募書類を提出していただきました。今回の応募総数は74件でした。

応募されたイベントについては、イベントプロデューサーや学識経験者等により構成する「第26回ふるさとイベント大賞選考委員会」において、厳正な審査を行い、受賞イベントを決定しました。

なお、選考にあたり、右記の選考基準を基にイベント内容を総合的に判断しました。

●選考基準

	評価のポイント
企画	・地域資源を積極的に活用している。（地域資源：風土、産業、食文化、伝統文化、歴史、特産物、建築物・構造物など） ・独創性にあふれ、新たな地域の魅力を創り出している。 ・多くの人をひきつける魅力がある。 ・魅力を増すための創意工夫が顕著である。
運営	・地域住民が積極的に参加している。（参加することに誇りを持っている） ・地域の内外を問わず、交流や連携が行われている。 ・継続して開催されており（継続される見込みがあり）、将来の発展性が見られる。
効果	・地場産業の振興や観光客誘致など、経済的な波及効果がある。（低予算でも波及効果が大きいなど） ・地域の知名度アップに貢献している。 ・地域住民の郷土意識の高揚につながっている。 ・伝統文化の継承や新しい文化の創造につながっている。

選考委員長の総評　北川 フラム氏（株式会社アートフロントギャラリー代表取締役／アートディレクター）


©Mao Yamamoto

ながく続いたその地を代表するイベントにはふたつの型があるようです。〈大分国際車いすマラソン〉はその土地だけではなく、世界共有の課題に対して開かれたイベントで、多くのボランティアに支えられ、地元と外にある普遍性が交流しています。

これに対して〈山形名物　日本一の芋煮会フェスティバル〉は秋の山形ではどこでも見られる里芋、豚コマ、大根、人参、ゴボウをいれこんだピクニック仕様の芋煮会を大掛かりに盛り上げたもので、土地に固有な生活に根ざしたものです。

〈SHIROFES.―踊れ、遊べ、弘前でも世界でも。―〉は津軽の伝統を現代に活かしたものだし、〈第70回となみチューリップフェア〉は文字通りの砺波のチューリップで、〈音信川うたあかり〉は郷土の詩人、金子みすゞに因んだものです。〈全国「かまぼこ板の絵」展覧会〉はそんななかでのアイデアのヒットでしょう。審査はいつも楽しいことを報告しておきます。

問い合わせ先
一般財団法人 地域活性化センター
地域創生部地域創生課　前田
〒103-0027 東京都中央区 日本橋 2-3-4
日本橋プラザビル13階
TEL 03-5202-6136　FAX 03-5202-0755
E-mail：event@jcrd.jp　HP：https://www.jcrd.jp/



大賞　内閣総理大臣賞
大分国際車いすマラソン
2021年11月21日（日）
【開催場所】大分市内コース







評価のポイント

●世界最大級の車いすマラソンイベントであり、このイベントを通じて世界各国の車いすの方々が交流し地域を盛り上げている。
●「世界トップレベルの障がい者スポーツイベント」かつ「大分の秋を彩るビッグイベント」としても広く定着している。
●ボランティア等に支えられ、毎年の大会が円滑かつ盛況に運営されている。また、県内選手と地域の年間を通した交流事業のみならず、大会直前の海外選手来日期間中には、県民有志の通訳ボランティアグループ主催で海外選手と地域の小学生等による草の根型の国際交流事業も行われている。

次回開催日程

■開 催 日：令和4年11月中旬
■開催場所：大分市内コース
■問い合わせ先
・団 体 名　大分国際車いすマラソン事務局（大分県障がい者スポーツ協会内）
・住　　所　〒870-8501 大分県大分市大手町3丁目1番1号
・電話番号　097-533-6006　　・URL　https://kurumaisu-marathon.com

大賞

第26回
ふるさとイベント大賞

内閣総理大臣賞

大分国際車いすマラソン

大分県





大分国際車いすマラソンは、1981年の国際障害者年に中村裕博士（社会福祉法人太陽の家創始者）の提言で始まった、世界で初めての車いすだけのマラソン大会です。

昨年第40回大会を開催した本大会は、これまで世界78カ国・地域から延べ11,691人の車いすアスリートが参加するとともに、毎年2,000人を超えるボランティアが参加しています。また、本大会のコースではマラソン男女3クラスの記録が公認世界記録となっています。加えて現在のパラリンピックでは、障がいの重いクラスの車いすマラソン競技は実施されていませんが、本大会ではそうしたクラスでのレースも実施されており、障がいの重い選手にとって貴重な国際大会の場となっているなど、国内外多くの車いすアスリートにとって「OITA」に出場することは、憧れのような存在になっています。

当日のレースの模様は全国に向け実況生中継でTV放映されるだけでなく、レース前日の開会式は地元商店街を会場に選手と市民の交流型イベントとして開催されるなど、世界トップレベルのスポーツイベントというだけでなく、大分の秋を彩るビッグイベントとしても広く定着しています。

大会前後には、大分の街に車いすアスリートがあふれ、障がいの有無にかかわらず歓迎し触れ合う姿があちこちで見られるなど、誰もが安心して過ごせる共生社会の実現にも寄与していると考えています。

近年、コロナ禍で世界中のさまざまなスポーツイベントの中止・延期が相次いでいますが、本大会では医師など専門家の助言の下、実効性のある感染防止対策や海外選手向け防疫対策のガイドラインを策定するなど、昨今の情勢に即した安全・安心な大会運営にも力を入れています。「OITA」開催を待ち望む世界中の車いすアスリートらのために、今後も関係者一丸となって、新しい時代にふさわしい挑戦を続けていきます。

主催者メッセージ

1981年の国際障害者年から世界で初めての車いすだけのマラソン大会として始まった大分国際車いすマラソンは、昨年40回を迎えました。国内外からアスリートが集まり、トップアスリートや障がいの重い選手がともに走る姿は、必ず見る方々に感動をお届けします。皆さんもぜひご覧になり、車いすマラソンの世界にどっぷり浸かってください。



大分国際車いすマラソン事務局
事務局長
渡邉 仁さん

開催DATA

自治体名	大分県
自治体人口	1,113,607人 ※R3.12.1現在の住民基本台帳人口
主催団体	大分県、公益財団法人日本パラスポーツ協会・日本パラリンピック委員会、一般社団法人日本パラ陸上競技連盟、大分市、大分合同新聞社、社会福祉法人大分県社会福祉協議会、大分県障がい者スポーツ協会
開催回数	40回
開催日	令和3年11月21日（日）
開催場所	大分市内コース
観客数	約2,000人（関係者含む）







評価のポイント

●日本一の大鍋で調理し、バックホーを使用して芋煮をすくいあげる様子はインパクトが大きい（コロナ禍以前の通常時）。
●ほとんどの具材は県産物であり、県産農産物の消費拡大と観光誘客に貢献している。
●コロナ禍にあっての代替企画ではあったが、PRに努め、伝統を絶やさず継続することは、次の開催、さらなる飛躍につながると考えられる。

次回開催日程

■開 催 日：令和4年9月18日（日）　■開催場所：山形市 馬見ヶ崎川河川敷
■問い合わせ先
・団 体 名　日本一の芋煮会実行委員会
・住　　所　〒990-8501 山形県山形市七日町三丁目1番9号（山形商工会議所内）
・電話番号　023-622-0141、023-622-4666（山形商工会議所）
・U R L　https://imoni-fes.jp/

最優秀賞

第26回
ふるさとイベント大賞

総務大臣表彰

山形名物 日本一の芋煮会フェスティバル

山形の秋の風物詩として地域の人々に愛される「芋煮会」を日本一の規模で開催するフェスティバルです。山形の食文化・秋の芋煮会を全国に発信し、地域産業の振興と地場産業の活性化を図ることを目的に平成元年より開催しています。直径6.5㍍の日本一の大鍋「三代目鍋太郎」で調理される芋煮は味もスケールも日本一！　里芋4㌧、牛肉1.4㌧、水7㌧、こんにゃく5,500枚、ねぎ5,000本、醤油820㍑、日本酒162㍗（90升）、砂糖200㌔を使用し30,000食が配膳されます。使用される食材は砂糖を除きすべて山形県産です。第30回開催の際には、「8時間で最も多く提供されたスープ」としてギネス世界記録に認定されました。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で通常開催は中止としましたが、感染症対策を講じた上で、代替イベントとしてドライブスルー形式の芋煮会「ドライブスルーで芋に恋して」を実施しました。初めての試みとなったドライブスルー芋煮会の開催は、会場をこれまで開催してきた馬見ヶ崎から須川に変更し、配布方法も安心安全に日本一の味をお届けできるよう何度も会場となる河原へ足を運び検討を重ねました。当日の様子は全国放送のニュースにも取り上げられ、コロナ禍にあって山形県産農産物および観光に大きく貢献することができ、山形名物・日本一の芋煮会フェスティバルを全国へPRし、フェスティバルの歴史に新たな足跡を残すことができたと思っております。

令和3年度は残念ながら中止となってしまいましたが、本実行委員会が監修し、フェスティバルで使用予定であった食材を利用した「レトルト芋煮」を開発し、配布することで、食品ロスを軽減するとともに次年度へ向けてのPRを行いました。

来秋にはぜひ山形にお越しいただき、日本一の芋煮をご賞味下さい。

主催者メッセージ



直径6.5㍍の「日本一の大鍋」で調理し、バックホーを使用して芋煮をすくいあげる風景はインパクト大！

バックホーは新品を準備し、大鍋に浸るアームの部分はすべて分解し、潤滑油を家庭用洗剤で洗浄した後、食用バターを塗りこんだ衛生面に配慮した特別仕様です。

日本一の芋煮会フェスティバル
実行委員会委員長
公平 雅士さん





開催DATA

自治体名	山形県山形市
自治体人口	242,284人 ※R3.12.1現在の住民基本台帳人口
主催団体	日本一の芋煮会フェスティバル協議会
開催回数	33回（令和3年度現在　ただし、第33回は中止）
開催日	敬老の日の前日の日曜日
開催場所	山形市 馬見ヶ崎川河川敷 双月橋付近
観客数	38,000人（令和元年・第31回）







評価のポイント

●津軽郷土芸能である津軽三味線、津軽笛、ねぶた囃子の生演奏、全国大会強豪校の地元高校生書道部パフォーマンスや、鎧の着付け体験といった、弘前ならではの伝統文化をふんだんに取り入れている。
●SNSを用いて開催したダンス世界大会の予選には、過去最高の42カ国から1,238人が参加するなど、オンラインで弘前の魅力を世界中に発信している。

次回開催日程

■開 催 日：2022年7月2日、3日（2日間）
■開催場所：星と森のロマントピア
■問い合わせ先
・団 体 名　ひろさき芸術舞踊実行委員会
・住　　所　〒036-8181
・電話番号　0172-88-6499　　・URL　https://www.hirosakigeijyutu.com/

優秀賞

第26回
ふるさとイベント大賞

地域活性化センター会長表彰

SHIROFES.

―踊れ、遊べ、弘前でも世界でも。―

SHIROFES.は、弘前の重要な歴史的建造物であり、日本有数の桜の名所として有名な「弘前城」を舞台に、2016年より開催している、世界最大級のダンス&パフォーマンス複合フェスティバルです。

津軽郷土芸能の生演奏、地元高校生書道部パフォーマンスや、鎧の着付け体験といった、弘前ならではの伝統文化をふんだんに取り入れつつも、ダンスの世界大会やエクストリームスポーツの世界トップアスリートによるステージなど、世界最高峰のパフォーマンスが弘前城の前で繰り広げられるということで、地元住民だけでなく、世界中から注目を集めてきました。また、会場内には、県外から来た方に地域の産業や特産物を知ってもらう工夫も施しているほか、eスポーツの体験コーナーや地元アーティストによる音楽ライブ、ダンスやエクストリームスポーツのワークショップなどを会場のいたる所で開催。弘前城をテーマパークのように活用して『津軽文化とダンス&カルチャーのクロスオーバー』を目指し、子供から大人まで国境や世代も越えて多くの人に楽しんでもらえるイベントとして多くの方に親しまれてきました。

開催当初の2016年の経済効果は3,600万円でしたが、2019年の開催時には2億2,000万円の経済効果を産み、関連するYouTube動画の再生回数、SNSのシェア数も増加していきました。

しかし、さらなる期待感を持って迎えた2020年、新型コロナウィルスが猛威をふるったため、私たちは予定していたほぼすべてのコンテンツを限られた予算の中、“オンライン”という形で開催することに踏み切りました。

SNSを用いて開催したダンス世界大会の予選には、過去最高の42カ国から1,238人が参加、例年はステージの上でパフォーマンスしていた多くの出演者も参加してくれて、「SHIROFES. ONLINE」という形で世界中に感動を届けることができました。

コロナ禍で失っていた発表の機会や楽しむ場を創出することができ、地域や世代を超えて楽しめるイベントへと変化させ世界に誇れるフェスを実施できました。

主催者メッセージ



SHIROFES.は、弘前の歴史的建造物である弘前城を舞台に、2016年より開催している、世界最大級のダンス&パフォーマンス複合フェスティバルです。

津軽郷土芸能の生演奏等、弘前ならではの伝統文化を取り入れつつも、ダンスの世界大会など、世界最高峰のパフォーマンスが弘前城の前で繰り広げられるということで、世界中から注目を集めています。

ひろさき芸術舞踊実行委員会委員長
岩渕 伸雄さん





開催DATA

自治体名	青森県弘前市
自治体人口	166,385人 ※R3.12末現在の住民基本台帳人口
主催団体	ひろさき芸術舞踊実行委員会
開催回数	7回（2016年～ 2022年）
開催日	2020年7月5日
開催場所	弘前城本丸
観客数	10,000人



評価のポイント

●地域資源であるチューリップの展示だが、さまざまなバリエーションとスケールの大きさで楽しませる工夫を行っている。
●地域住民がチューリップの植込みや主会場となるチューリップ公園の清掃、公園内の案内ボランティアなどにも協力している。
●イベント期間中には民謡・民舞の団体によるステージ披露や小中高校生による吹奏楽のパレードも実施しており、文化芸術の披露の場ともなっている。

次回開催日程

■開 催 日：2022年4月22日（金）～ 5月5日（木･祝）
■開催場所：砺波チューリップ公園（主会場）
■問い合わせ先
・団 体 名　（公財）砺波市花と緑と文化の財団（チューリップ四季彩館）
・住　　所　〒939-1381 富山県砺波市中村100番地の1
・電話番号　0763-33-7716　　・URL　http://www.tulipfair.or.jp

優秀賞

第26回
ふるさとイベント大賞

地域活性化センター会長表彰

第70回となみチューリップフェア







となみチューリップフェアは、地域産業であるチューリップ生産の発展と観光振興の両立を図るイベントとして、1952年に第1回を開催してから「昭和」「平成」「令和」へと引き継がれ、今日ではチューリップ球根の出荷量日本一の強みを生かし、国内最大級300品種、300万本のチューリップで会場いっぱいを彩ることで、国内外からの来場者30万人を魅了する北陸を代表する花の祭典へと発展した。また、砺波市では地域住民による「おもてなしの心」で観光客の皆さまをお迎えするまちづくりを推進しており、毎年、延べ4,000人を超える市民ボランティアが参画している。2021年に記念すべき第70回を迎えることができたフェアだが、前年に開催予定だった2020年の第69回フェアは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により史上初めての中止を余儀なくされたため、第70回フェアではコロナ対策に万全を期すことで、2年分の想いを込めて開催することができた。また、第70回砺波チューリップフェアの開幕を記念して、富山県では初となる航空自衛隊第11飛行隊「ブルーインパルス」の展示飛行が行われ、全国的にも注目を集めた。このことは次年度以降のチューリップフェアの注目度向上、誘客促進、そしてウィズコロナの時代を迎え、どのように大型イベントを開催していくかの道筋をつけたことなど、大変有意義なものであった。フェア会場内の見どころとして人気が高いのは、約21万本のチューリップで毎年さまざまな地上絵を描く「大花壇」や富山県の有名な観光スポットである立山アルペンルートの「雪の大谷」をイメージした高さ4㍍×全長30㍍にも及ぶチューリップの回廊「花の大谷」、砺波市発案の「水上花壇」などがある。会場ではリピーターの方にも満足してもらえるよう、工夫と趣向を凝らしたチューリップ展示を行うことで、となみチューリップフェアは移り行く時代とともに成長と変化を続け、多くの皆さまに感動を与えている。

主催者メッセージ



フェアの会場内では、約2,600平方㍍に約21万本のチューリップで、毎年さまざまな地上絵の模様を描く大花壇、立山アルペンルートの「雪の大谷」をイメージしたチューリップの花の回廊、高さ4㍍×全長30㍍の「花の大谷」、第70回を記念に登場した「新チューリップタワー」、ひょうたん池と呼ばれる湖面にチューリップの島が浮かぶ「水上花壇」などがあります。

公益財団法人砺波市花と緑と文化の財団
事務局長（チューリップ四季彩館長）
佐伯 幹夫さん

開催DATA

自治体名	富山県砺波市
自治体人口	47,626人 ※R3.12末現在の住民基本台帳人口
主催団体	砺波市・（公財）砺波市花と緑と文化の財団・（一社）砺波市観光協会
開催回数	第70回（令和3年度）
開催日	2021年4月22日（木） ～5月5日（水・祝）
開催場所	砺波チューリップ公園（主会場）
観客数	148,000人







評価のポイント

●自然豊かな温泉街らしい魅力的な夜間情緒を実現している。
●長門市出身の童謡詩人、金子みすゞの詩を視覚的なテーマとするのみならず、市民による朗読や合唱などの手法で詩そのものを光と融合させる照明演出によって表現している。
●温泉街のリニューアル前はほとんど見られなかった若年層が夜のそぞろ歩きを楽しむシーンを実現している。
●第3回では、市民20名による詩の朗読と園児による合唱が照明演出のBGMとして使用されると共に、市内すべての幼稚園・保育園の園児、小学校児童、中学校生徒が手作りした約3,000個の紙製ランプシェード「あかりのうつわ」を設置することができ、地域総出でイベントに関わっている。

次回開催日程

■開 催 日：2023年2月（予定）
■開催場所：長門湯本温泉
■問い合わせ先
・団 体 名　長門湯本温泉まち株式会社
・住　　所　〒759-4103 山口県長門市深川湯本1260番地1
・電話番号　0837-25-6400　　・URL　https://yumotoonsen.com/

優秀賞

第26回
ふるさとイベント大賞

地域活性化センター会長表彰

音信川うたあかり

山口県でもっとも古い約600年の歴史をもつ長門湯本温泉。観光まちづくり計画が進む温泉街には、地域の若手によって再建されたモダンな立ち寄り湯「恩湯」や、地元グルメが味わえる飲食店、清流音信川沿いにのびる飛び石や川床、街中を照らす幻想的なライトアップなど、楽しめる場所がたくさんです。

この長門湯本温泉の冬の風物詩が、温泉街を流れる音信川を舞台に行われる「音信川うたあかり」、長門市出身の童謡詩人、金子みすゞの詩をテーマにした灯りイベントです。

詩のナレーションに合わせた幻想的な光の演出「うたあかり幻燈輪舞」では、温泉街の中心にある竹林の階段を舞台に、金子みすゞの詩の朗読と音楽にあわせて、いくつもの影絵が踊ります。周辺の竹林のライトアップや広場の照明もあわせて変化する「音と光のエンターテインメント」をお楽しみください。

隣接する「みすゞのお庭」では、市内すべての小中幼保の子どもたちが制作した数千個の「あかりのうつわ」を会場に設置、訪れた方々を温かくお出迎えします。

この他にも、地元の萩焼作家さんのご協力により小学生が制作した萩焼ランプシェードや地元住民が制作したあかりのモチーフなどで、音信川を中心とした温泉街全体が、金子みすゞをテーマに幻想的に彩られます。

長門湯本温泉の冬の風物詩「音信川うたあかり」で、この季節、この場所だけの特別な風景を、是非お楽しみください。





主催者メッセージ



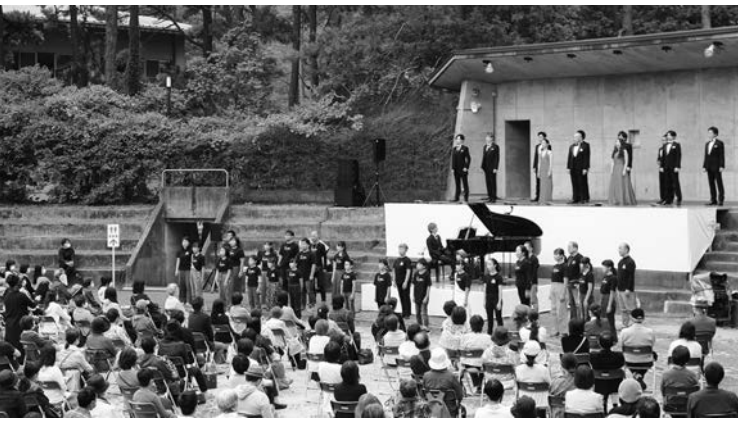
「音信川うたあかり」は、地域・事業者・行政一体での再生を目指す長門湯本温泉の象徴的な取り組みです。自然豊かな温泉街を舞台にした地域固有の冬の風物詩。市内の小中幼保すべての子どもたちが参加する、地域総出での幻想的な温かいおもてなしが「金子みすゞ」の詩とともに、多くの方に届くことを願っています。

長門湯本温泉まち株式会社
エリアマネージャー
木村 隼斗さん

開催DATA

自治体名	山口県長門市
自治体人口	32,336人 ※R3.12末現在の住民基本台帳人口
主催団体	長門湯本温泉まち株式会社
開催回数	4回
開催日	毎年2月
開催場所	長門湯本温泉街
観客数	約15,000人







評価のポイント

●大田市が誇る世界遺産･日本遺産「石見銀山遺跡」の史実を基に、西洋の総合舞台芸術オペラと当地域の伝統芸能である「石見神楽」を融合させたイベント。
●県内外から多くの観光客が訪れ、経済波及効果も高い。
●オペラの挿入歌が地元のコンサートやイベント、小中学校の音楽会でも歌われるようになり、新しい文化として根付きつつある。

次回開催日程

■開 催 日：令和4年11月2日（水）
■開催場所：京都劇場
■問い合わせ先
・団 体 名　オペラ「石見銀山」実行委員会
・住　　所　〒694-0041 島根県大田市長久町長久イ555
・電話番号　0854-82-0170　　・MAIL　shimane-kanbanya@air.ocn.ne.jp

ふるさとキラリ賞

第26回
ふるさとイベント大賞

選考委員会表彰

『オペラ「石見銀山」』の制作、継続公演 祝「日本遺産認定」オペラ石見銀山 オールキャストコンサート

オペラ「石見銀山」実行委員会では、平成29年7月2日に迎えた石見銀山世界遺産登録10周年を機に、西洋舞台芸術オペラと島根県石見地域の伝統芸能である「石見神楽」を融合させた「オペラ「石見銀山」』を制作し、これまで地元大田市民会館で2回、新国立劇場で1回、東京文化会館で1回の公演を行ってきた。

令和2年4月には新型コロナウイルスにより、全国で緊急事態宣言が発令され、文化・芸能活動は公演中止等により多大な影響を受けた。そんな中、令和2年6月19日に島根県大田市が申請していた「石見の火山が伝える悠久の歴史～“縄文の森”銀の山”と出逢える旅へ～」が日本遺産に認定され、地域にとって明るいニュースが流れ、大田市全体を元気付けるものとなった。日本遺産の構成文化財にはオペラの題材にもなった、世界遺産石見銀山遺跡も含まれていることから、当実行委員会でも喜びにあふれた。

新型コロナウイルスによる沈滞ムードの中にある地域を元気付けることや、自粛が続く文化・芸能活動について、感染症対策を万全に取りながら、Withコロナ時代を見据えた地域での継承を模索していくことを目的に、この「オペラ石見銀山オールキャストコンサート」を開催することとした。

屋外にステージを組み、鳥のさえずりや木々の音をBGMに、オペラの挿入歌をコンサート形式で歌唱した。伴奏はオペラの挿入歌を作曲した音楽博士の中村匡宏氏が担当し、オペラを彷彿とさせる情緒あふれる演奏が花を添えた。

出演者は島根県大田市の観光大使で大田市出身者を含むオペラユニット「ザ・レジェンド」の他、大田市に縁のあるオペラ歌手で構成した。地元合唱団は、既存のメンバーに加え、新たに地元三瓶地域の小学生らの参加があり、プロ歌手と地元合唱団のコラボ出演とした。

令和4年は世界遺産登録15周年を迎え、この節目に再演し、末永く後世に演じ歌い継がれる地域独自の文化芸術作品として育てて行きたい。

主催者メッセージ



オペラ「石見銀山」は、西洋のオペラと島根県石見地域の石見神楽を融合させた、世界初の全く新しい創作オペラである。オリジナリティあふれる挿入歌は、感情的でありドラマチックである。作曲を手がけた中村匡宏氏のピアノ演奏により、プロのオペラ歌手と地元オペラ石見銀山合唱団とのコンサートが初めて開催できた。

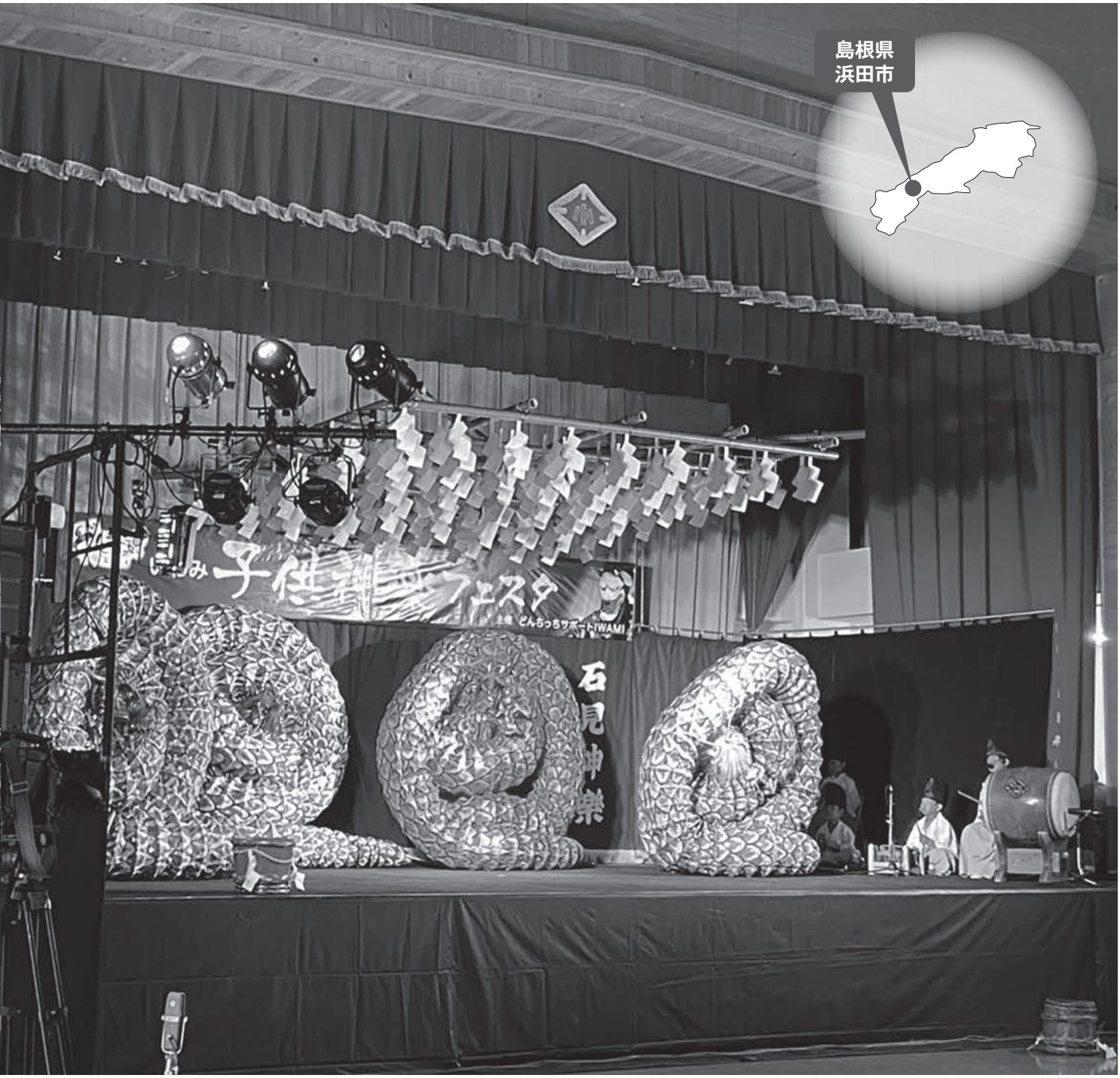
オペラ「石見銀山」
実行委員会事務局長
谷本 由香子さん





開催DATA

自治体名	島根県大田市
自治体人口	33,243人 ※R3.12末現在の住民基本台帳
主催団体	オペラ「石見銀山」実行委員会
開催回数	1回
開催日	令和2年10月4日（昼夜2回公演）
開催場所	昼：国立三瓶青少年交流の家 夜：大田市民会館
観客数	739人



評価のポイント

●フェスタ専属の神楽キャラクターを登場させ大会を盛り上げるなど最後まで楽しめる大会になるように工夫されている。
●郷土が世界に誇る石見神楽を通して子どもたちにふるさと浜田のすばらしさを伝えるとともに、日々の練習で汗や涙を流しながら伝統文化と真摯に取り組み、その成果を発表できることのうれしさ楽しさを体験させている。

次回開催日程

■開 催 日：2022年6月（日時未定）
■開催場所：未定
■問い合わせ先
・団 体 名　どんちっちサポートIWAMI
・住　　所　〒697-0024 島根県浜田市黒川町3740-76
・電話番号　0855-23-1944

ふるさとキラリ賞

第26回
ふるさとイベント大賞

選考委員会表彰

第24回 いわみ子供神楽フェスタ 2021

我々、どんちっちサポートIWAMIが所在する島根県西部の浜田市は石見地方と呼ばれ、この地域には古くから石見神楽という伝統芸能が存在しています。石見地方には石見神楽を継承している団体が180以上存在し神楽が盛んな地域であります。

当会は1998年に前身団体が結成され、2008年にどんちっちサポートIWAMIと改名しました。子供神楽フェスタは、前身団体結成当時に、地域の宝である伝統芸能「石見神楽」の伝承者育成と青少年健全育成を目的に第1回を開催、以来、毎年開催し、2021年で24回目となりました。例年、子どもたちの学び舎である市内の小中学校の体育館を会場とし、地域住民はもとより県外から多くの方々に足を運んでいただき盛大に開催してきました。

残念ながら、今回も前回に引き続き新型コロナウイルス感染拡大により、例年のように多くの観客を招いての開催はできませんでした。しかし、コロナ禍で沈んでしまっている、地域住民の方々の心にも元気を与えられるように、意義あるフェスタの開催を目指して、出演者の多くの子どもたちをはじめ、大会運営スタッフが協力し、一生懸命準備を進めました。前回に引き続き、地元ケーブルテレビジョンの協力を得、大会の様子を収録し、後日ケーブルテレビジョンで地域へ放送しました。会場は、感染防止対策のため、出演する子どもたちの2親等までの親族が観覧できるように人数制限を行い開催することとしました。

例年と同様、多くの子どもたちが出演し「神」になり「鬼」になり、汗を流して一生懸命に神楽を上演することが出来ました。過去の大会に出演した子どもたちも大きくなり、中には現在、石見神楽を受け継ぐために地元へ就職し、各団体の後継者の指導や中心的役割を担っている若者も存在します。今後も地域と石見神楽が大好きな子どもたちと一緒に地元地域で育み守ってきた郷土芸能石見神楽を後世へと継承していきたいと思います。今後もよろしくお願い申し上げます。

主催者メッセージ



伝統芸能石見神楽は2019年に日本遺産にも登録され、日本はもちろん、世界から注目されています。どんちっちサポートIWAMI加盟の各神楽団体に所属する、石見神楽の次世代を担う神楽好きの子どもたちが一堂に会して、日頃の練習の成果を「神」となり「鬼」となり全身全霊をかけて上演しました。

どんちっちサポートIWAMI事務局長
勝田 知宏さん







開催DATA

自治体名	島根県浜田市
自治体人口	51,546人 ※R3.12末現在の住民基本台帳人口
主催団体	どんちっち サポート IWAMI
開催回数	24回
開催日	2021年6月27日
開催場所	浜田市立原井小学校
観客数	157人



評価のポイント

●廃棄されるかまぼこ板をキャンバスとするアイデアが優れており、環境にも配慮したイベント。
●毎年応募する中で参加者同士の間に新たな交流が生まれている。
●第1回から第19回展覧会まで、どの回でも応募総数が11,000点を超えており、毎年全国のファンから数々の感動作品が届いている。

次回開催日程

■開 催 日：令和4年7月23日（土）～令和4年12月4日（日）
■開催場所：西予市立美術館ギャラリーしろかわ
■問い合わせ先
・団 体 名　西予市（西予市立美術館ギャラリーしろかわ）
・住　　所　〒797-1717 愛媛県西予市城川町下相680番地
・電話番号　0894-82-1001　　・URL　https://www.city.seiyo.ehime.jp/miryoku/galleryshirokawa/

選考委員特別賞

第26回
ふるさとイベント大賞

選考委員会委員長表彰

全国「かまぼこ板の絵」展覧会

山から切り出した木材が「かまぼこ板」に加工され、蒲鉾（かまぼこ）として全国に流通したあと、食後廃棄される板をキャンバスとしてリサイクルし、絵を描きます。こうして、たくさんの人々の想いを携えたかまぼこ板がその故郷に戻ってくることは夢があって素敵なことです。

洋画家の折笠勝之先生から“絵は、いつでも、だれでも、なんにでも描ける”といただいた1枚のかまぼこ板の絵から始まったこの展覧会は、全都道府県及び海外から届くたくさんの夢や希望、想い、感動を紡ぎ、積み重ね、第26回を迎えました。プロ・アマ問わず、自由に絵を描く楽しみをかまぼこ板に描くことで、一人ひとりの個性の輝きを認め合い心の交流を図っています。

「かまぼこ板」を日本一小さなキャンバスとするこの展覧会は、平成7年から継続して実施し、回ごとに展示テーマを決め、展示会場の趣向を変えながら全作品を一堂に展示してきました。第8回展では、歴代最高となる15,787点（31,065枚、21,631人）の作品が集まりました。

幼児から高齢者までの幅広い世代の人々が、自由な発想で想い想いに描くことを楽しんでいます。毎年応募する方々は、この小さなキャンバスを通じて交友関係を結び、全国各地でつながっています。

また、「日本一短い手紙」（福井県坂井市）と「かまぼこ板の絵」はコラボレーションを行っています。双方に届く作品は、合わせることを意図せずに書いた（描いた）見知らぬ作品同士ですが、何か大きな縁で結ばれていたかのように一つの作品となって、世界一大きな感動の物語を創り出しているのもこの展覧会の大きな魅力になっています。

第1回ふるさとイベント大賞において「優秀賞」をいただきました。25年の時を経て再び賞をいただきますこと、大変光栄です。長年応援していただいている全国の皆様のおかげであると感謝申し上げます。

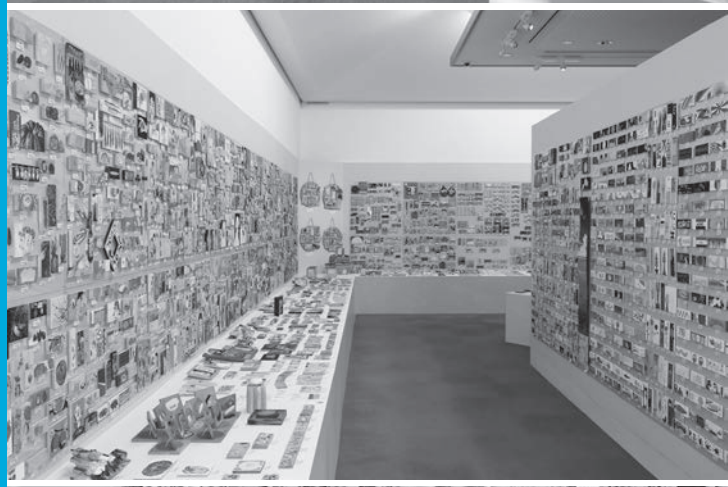
主催者メッセージ



全都道府県および海外から集まって一堂に会した作品たちには、幼児から高齢者までの幅広い世代が描く1枚1枚にたくさんの想いがあり、当館を訪れた皆さんに大きな感動を贈ってくれます。小さいキャンバスながらも、心揺さぶる珠玉の作品たちを、ぜひとも自分でお確かめください。得も言われぬ感動が湧き上がってきます。

西予市立美術館
ギャラリーしろかわ館長
小田原 誠さん







開催DATA

自治体名	愛媛県西予市
自治体人口	36,633人 ※R2.12末現在の住民基本台帳人口
主催団体	愛媛県西予市
開催回数	26回（平成7年度～令和3年度間、令和2年度のみ延期）
開催日	例年7月中旬～ 12月上旬
開催場所	西予市立美術館ギャラリーしろかわ
観客数	6,585人（令和元年度における展示期間中の人数）

移住・定住・交流推進支援事業

（福岡県田川市）

チャレンジャーをプロに育成する官民金連携事業

―創業者の増加及び移住者の定住化を目指す―



田川市建設経済部産業振興課
地域おこし協力隊
● 洲﨑　絵梨奈

都市から地方への移住・交流は、人口減少社会における地域活性化策の柱として期待される。地域活性化センターでは、「移住・定住・交流推進支援事業」として、地域団体もしくは市町村等が自主的・主体的に実施する、都市住民などを受け入れる事業を支援している。

今回、同事業を活用した福岡県田川市の「チャレンジャーをプロに育成する官民金連携の創業・定住支援事業」について、田川市地域おこし協力隊の洲﨑絵梨奈氏にご紹介いただいた。（企画・人材育成グループ）

田川市は「月が出た出た 月が出た…」で有名な炭坑節発祥の地です。福岡県の中央部に位置し、福岡市や北九州市など県内の主要都市から約1時間でアクセスでき、三方向を山々に囲われる、人口約4万6000人の自然豊かな街です。明治末期から良質な石炭を豊富に産出するなど、日本の近代化を支えたことで知られ、数々の炭坑遺産を含めた歴史・文化・自然が、まちの魅力として広く親しまれています。

田川市の状況

田川市では「美しい街づくり」「新産業の創出」「教育改革」「子育て支援」を市政の要に据えて推進しています。田川市に住み続けたい、暮らしたいと思ってもらうため、利便性が高い都市整備や健幸社会・共生社会の実現、防災体制の強化などにも力を入れています。

田川市は、出身者の方の地元愛が強く、地元就職意向が高い地域です。近年では、I・Uターンした方やふるさとに貢献したいという方たちの手によって、田川市の魅力が再発掘されています。中でも、音楽中心のコンテンツ産業の創出・集積を目指しオープンした廃校利活用施設「いいかねPalette」は魅力的な施設の一つです。

一方で、田川伊田駅と田川後藤寺駅を中心とする二つの集客エリアがありますが、中心市街地の衰退や空洞化が進み、駅周辺の商店街でも著しい商業機能の低下が続いています。若者の希望する就職先が少なく、就職を機に転出するため、若者世代の人口流出が進んでいます。

これら課題解決に向けて、私たち地域おこし協力隊が、「空き家・空



奈良で行われた実地講座



空き家セミナーの様子

き店舗の掘り起こしと利活用」「商店街の活性化」「若者世代の創業が活発になるような施策」をミッションとして掲げ、日々活動しています。今回、空き家等の利活用をより専門的に学ぶことができる育成カリキュラムや、商店街のにぎわいづくりのためのチャレンジショップの整備などを進めていきたいと考え、この支援事業を活用しました。

育成カリキュラムの企画・実施

まず育成カリキュラムとして、「空き家セミナー」を開催、また「空き家相談育成講座」を受講しました。空き家セミナーでは、奈良県で活躍されている空き家等の利活用に詳しい空き家コンシェルジュの方を招き、空き家等の所有者や利活用を希望される方と一緒に、全国の事例などを通じて具体的な対処法を学びました。私自身、今後「空き家相談員」として、地域や所有者の方たちとどう関わっていけばよいかなど道筋が見えてきました。空き家等の掘り起こしや利活用など私たちのミッションについて、さまざまなヒントを得たので、所有者の方への提案材料にしていきたいと考えています。

次に、所有者の方から寄せられる「どこにどう相談したらよいか分からない」などの相談を、空き家相談員としてワンストップで引き受けることができるスキルを身に付けたいと思い、空き家相談員育成講座を受講しました。奈良県で行われた実地講座では「空き家コンシェルジュ」として活動している方から、現場ならではの声や事例などについて教わり、相談窓口の実務や事業計画の立て方などをワークショップ形式で学ぶことができました。



ワークショップでリアカーゴを作る



空きテナント前に置かれたリアカーゴ

チャレンジショップへの設備投資

主に商店街の空きスペースや空き店舗の軒下などを活用して、チャレンジショップを開くことができる「リアカーゴ」を製作するため、ワークショップを開催しました。

田川市では、令和3年度に市内でテレワークしながら宿泊できる「いいかね Palette」を拠点に、クリエーターや法人、親子を対象としたテレワークツアーを開催したのですが、そのツアーで訪れていた全国各地8人のクリエーターと一緒に、ワークショップで5台のリアカーゴの組み立てと色塗りを実施しました。

製作後、このリアカーゴは、商店街で開催するお祭りやマルシェなどで活用しています。今後はさらに、起業したいという意思や興味はあるものの、空きテナントを借りたり購入したりすることに迷っている方などに、テナントの軒先でのプチ出店を勧め、貸出しするような活用法を考えています。

今後の展望

これから私たち地域おこし協力隊は、「空き家相談員」として、地域のメーンプレーヤーとなり、空き家（所有者）×地域×買い手（借り手）それぞれをマッチングできるような役割を担えたらと考えています。また、リアカーゴを活用したチャレンジショップなどを数多く開催するなどして、積極的に地域のにぎわいを生み出していきたいと考えています。

また、老朽化が進む空き店舗について、利活用希望者の方の改修にかかる負担を少しでも和らげるため、令和4年度、その経費の一部を補助する「田川市空き店舗活用補助金」の限度額を拡充したり、地域の金融機関と連携して新たな金融助成制度を設けたりするなどのサポートを予定しています。

このように空き家等の掘り起こしと、相談窓口の整備、支援制度の提供などを一体的に進め、外部人材が流入する環境をつくっていきたいと考えています。さらに、ホームページやSNSなどで積極的に発信し、若者世代をはじめとする創業者の増加や移住者の定住化を目指していきたいと考えています。

エンターテインメントの見地から地域資源を磨き上げ、発信、拡散する



吉村 隆氏（よしむら たかし）

◉ 吉村 隆 氏プロフィール

株式会社ポニーキャニオン代表取締役社長。1956年6月4日生まれ。1981年ポニーキャニオン入社。2011年取締役マーケティング本部長兼営業本部長に就任。2015年から現職。日本映像ソフト協会会長、日本レコード協会副会長、日本音楽産業・文化振興財団（JMCE）理事を務める。

株式会社ポニーキャニオンと地域活性化センターとの連携事業として、センターに出向中の地方自治体職員6人が「エンターテインメント事業を学ぶ」をテーマにインターン研修を実施しました。その一環として株式会社ポニーキャニオン社長の吉村隆氏にインタビューを行いました。

―ポニーキャニオンの事業概要について教えてください。

弊社は1966年に設立され、常に時代性のあるエンターテインメント事業を展開し、数々のヒットコンテンツを生み出してきました。現在では音楽、アニメ、映画などに関する各種パッケージソフトの制作や、デジタルコンテンツの企画、制作、販売、さらにはイベント企画制作など、多岐にわたる事業を展開しています。

そのなかで、観光や移住定住、シティプロモーションなど、地域が抱える課題解決に注目し、2015年に社内横断プロジェクトとして地域との協働事業を立ち上げました。そして、エンターテインメント業界では初の地域課題解決専門部署、エリアアライアンス部を2017年に立ち上げました。

地域活性化事業の専門部署を設置

―エリアアライアンス部について教えてください。

エリアアライアンス部は、「エンターテインメントの力で地域を、ニッポンを元気に」を事業コンセプトに地域活性化事業を専門に行っている部署です。さまざまな既存の事業によって培ったノウハウや、多方面にわたるネットワーク、リソースを活かしたエリア活性化の一端を担う事業を推進しています。地域資源の磨き上げや発信、拡散など、エンターテインメント界の見地から地域の課題解決に取り組んでいます。

―これまでどのような自治体と連携されてきましたか。

2015年以来、250以上の自治体案件に取り組んできました。

例えば、千葉県長生村とは、2種類のガイドブックを作成し、都内や千葉県内の若い世代に向けて配布をしました。作成したガイドブックは、地域活性化センターが主催する「地域プロモーションアワード2021ふるさとパンフレット大賞」で審査委員賞〝マックン賞〟を受賞しています。

また、2021年度、岐阜県垂井町と地域の歴史を生かしたアニメーションを制作しました。エンディング・テーマは垂井町出身の直木賞作家朝井リョウ氏が作詞し、弊社所属の人気声優土岐隼一氏が歌いました。作品を作る際には、その地域にある背景やつながり、思いを大切にしながら制作に取り組んでいます。

これ以外にも、弊社が持つノウハウを生かして数多くの自治体と連携していますが、取り組む際には、できあがったプランを当てはめるのではなく、自治体にあった手法を一緒に考えることを大切にしています。

―株式会社ポニーキャニオンにおける人材育成の方針についてお教えください。

弊社では、人材を「人財」ととらえ、社員一人

ひとりの持つ創造性を大切にし、その育成に力を入れています。人への投資は会社の成長の源泉と考えており、社員が新たな知識や技術を身につけ、企業人として成長するための機会として、勉強会の開催や資格取得のための研修補助を行っています。朝の勉強会では、社員が興味を持っているものや世の中でトレンドとなっているものをテーマとして取り上げ、日々変化し続ける市場やビジネス環境に順応できる人材の育成を意識しています。特に、若い社員がさまざまなことにチャレンジできる風土づくりを大切にしており、若い社員がアクセルを踏み、ベテラン社員が時にはブレーキを踏みながらその挑戦を支え、成長を促していく環境を目指しています。





インタビューの様子

メタバース分野での連携も

―地域活性化の今後の展望、地域に対する社長ご自身の思いなどを教えてください。

弊社が他の会社と違うところは、一つの会社で音楽、アニメなど複数の分野・物事を全部一緒に考えられるところです。全国の自治体の方々と仕事をさせていただくときに、エンターテインメント全体の中でどういう役割を果たせるかを考えられることが大きな強みです。今後、メタバース（仮想空間を活用したサービス）でのライブ配信事業を考えていますが、メタバース分野においても地域との連携も大いにあり得ると感じています。

デジタル化とともに急速に変化する時代に取り残されないためには、先を見据えるイマジネーションが大切です。熱意のあるイマジネーションからクリエイティブな発想が生まれます。自治体の方々と共に熱意をもって連携事業を進めていきたいと考えています。

エンターテインメントの仕事は社会貢献性の高いものであると感じています。その点においても自治体との連携は重要であると思っています。あわせて自治体のエンターテインメントへの理解や熱意を高めていくことにも貢献していきたいと思います。エンターテインメントの持つ力が地域を元気にする、その効果は計り知れません。今後も、自治体と互いに意見を出し合い、議論をしながらより良い取り組みを行っていきます。



吉村社長と地域活性化センターのインターン生

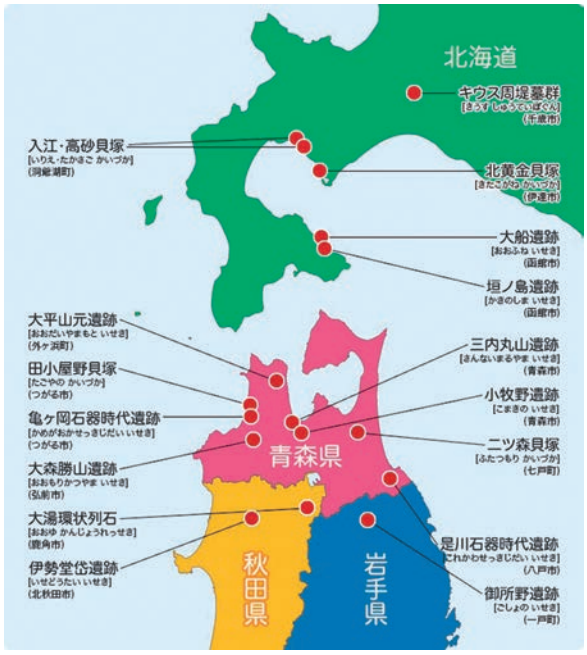
北海道・北東北

日本初、先史時代の遺産が世界遺産に
―人類の歴史示す「北海道・北東北の縄文遺跡群」―



岡田 康博
元縄文遺跡群世界遺産登録推進会議座長
元青森県企画政策部世界文化遺産登録推進室
世界文化遺産登録専門監

2021年7月開催の第44回世界遺産委員会拡大会合において、青森県・北海道・岩手県・秋田県および関係自治体（千歳市、伊達市、洞爺湖町、森町、函館市、青森市、八戸市、弘前市、つがる市、外ヶ浜町、七戸町、一戸町、鹿角市、北秋田市）が進めてきた、域内の17の縄文遺跡群で構成する「北海道・北東北の縄文遺跡群」（Jomon Prehistoric Sites in Northern Japan）の世界遺産一覧表への記載が決議されました。現在、日本国内で最も新しい世界遺産の誕生です。



「北海道・北東北の縄文遺跡群」の構成資産

登録実現までの長い道のり

世界遺産登録への取り組みは、2005年10月に三村申吾青森県知事が県内の縄文遺跡群の世界遺産登録を目指すことを表明したことに始まります。2006、2007年に、文化庁は世界遺産暫定一覧表への追加記載案件を公募することとなり、青森県は「青森県の縄文遺跡群」を、秋田県は「ストーンサークル」を提案しました。

しかしながら、文化審議会での審査は継続審議となり、課題として地域設定の検討が示されたことから、青森県からの呼びかけで、縄文時代において同一の地域文化圏を形成していた北海道、岩手県、秋田県を加え、4道県共同で再提案を行いました。文化審議会世界文化遺産特別委員会での審議の結果、暫定一覧表への追加記載が決定し、我が国の正式な世界遺産候補となったわけです。

その後、ユネスコの登録審査に必要な推薦書や包括的保存管理計画の作成を進めるとともに構成資産である各遺跡の環境整備を行いました。2019年には推薦が決定し、2020年1月に推薦書が日本政府によって提出されました。その後イコモス（国際記念物遺跡会議）の現地調査を経て、2021年5月には登録が適当とのイコモス勧告が出されました。

地域連携の構築

登録推進にあたって、構成資産が広域に点在することから、関係道県の知事、教育長および関係市町の首長等で構成する登録推進本部（本部長三村申吾青森県知事）を立ち上げ、各自治体の文化財主管課長らによる推進会議、考古学や世界遺産、文化財保護の専門家による専門家委員会を設置し、諸課題への検討と共通理解を図りながら取り組みを進めてきました。4道県は知事サミットを開催するなど、日頃から交流はあるものの、市町までを含めた広域連携はあまり例がありませんでした。

一方、縄文遺跡群の認知度向上のため、共通パンフレットの作成、各道県および東京でのフォーラム開催、東京、大阪、福岡での巡回展示、ロンドンやパリでの説明会を開催するなど、4道県として積極的に情報発信を行ってきました。

縄文遺跡群の価値

「北海道・北東北の縄文遺跡群」は日本の歴史の時代区分では縄文時

代に属します。縄文時代は約1万5000年前に始まり約2400年前まで続いた狩猟・採集文化の時代です。縄文時代初期の気候温暖化は列島に落葉広葉樹林の拡大と海水面上昇による内湾や入り江の形成など、大きな環境の変化をもたらし、海や森の豊かな資源を利用する機会が増え、狩猟・採集や漁労を基盤として、定住が開始したとされています。

土器が誕生し、周辺環境における資源を利用するための技術や道具類も発達し、弓矢など特有の道具も出現しました。特に土器は北東アジアでは最古級のものであり、煮沸や貯蔵を容易にするとともに、利用可能な資源の範囲を拡大することに大きく貢献し、生活の安定をもたらしました。弓矢は俊敏な動きをする中・小型動物の獲得に適していました。ウルシやアスファルトの利用など新たな技術も開発されるとともに土偶などに見られる精神世界も充実するようになりました。



三内丸山遺跡（青森市、日本最大級の縄文集落）



大湯環状列石（秋田県鹿角市、大規模ストーン・サークル）



大船遺跡（北海道函館市、太平洋に面した集落跡）

縄文遺跡群は、北東アジアにおいて、採集・漁労・狩猟を基盤とした定住を1万年以上の長期間継続した世界的にも稀有なものであり、農耕以前の人類の生き方を理解する上できわめて重要です。また、日本文化の基層が形成された時代としてもその歴史的意義は大きいと言えます。

登録に当たっては、長期間の取り組みとなったことから、しっかりとした準備ができたことが登録実現のポイントだったと思います。コロナ禍にありながらも各自治体とも適切な対応ができました。世界遺産登録には近道はなく、一つ一つ課題を解決し、積み上げていくことが大事だと思っています。

縄文一万年の旅にようこそ

登録は新たなスタートであり、今後は、遺跡群の一体的な保存・活用をさらに進めることになります。その拠点となる世界遺産センターの設置も急務の課題です。なによりも、遺跡群の価値を伝え、知るためにはやはり現地への訪問が欠かせないと思います。多くの遺跡は遺跡公園として整備、公開され（ホームページ Jomon Japan を参照）、ボランティアガイドの解説も楽しめるとともに、遺跡の出土品も展示され、より縄文遺跡が身近に感じられ、誰もが楽しめるようになっています。時には縄文の心地よい風に吹かれてみてはいかがでしょうか。

2021年度　新たな知と方法を生む地方創生セミナー

地域商社が高める地域の価値とその先

～公益性意識し、ビジネスベースで解決～

地域活性化センターは、2021年度新たな知と方法を生む地方創生セミナー「地域商社が高める地域の価値とその先」を2022年2月18日（金）にオンラインで開催しました。全国各地から自治体職員など31人が参加しました。



集合写真

【講義Ⅰ】地域商社が高める地域の価値とその先

民間都市開発推進機構の中村郁博氏が地域商社の概要や地域商社に求められる役割について講義しました。

地域商社の基本的な定義は「地域で、地域産品の卸・小売を営む地域開発の主体・プロジェクト」ですが、最発展的な定義は「地域で、公益性を強く意識し、地域課題に対し、ビジネスベースでの解決を図るソリューション・コア」であり、これからの地域商社には公益性が求められると指摘。「ビジネスベース」で課題解決を図ることが重要であり、マーケティング、ブランディングを自ら行う必要があると述べました。

安価で大量に生産するマスマーケット追求型ではなく、高価で少量しか生産できないが付加価値の高い商品を提供するニッチマーケット特化型で事業を行い、コアなファンを獲得することで継続性を確保することが大切だと強調しました。

【講義Ⅱ】株式会社SMO南小国の取り組み

SMO南小国の安部千尋氏は同社の取り組みについて講義しました。同社は観光協会と道の駅が合併してできた地域商社で、域外資本を獲得して域内に還元することを目標としています。物産館の運営やふるさと納税事務、地域資源を活用したコンテンツ開発や、挑戦する人のサポートまで行っています。

発足当時は不採算事業の改革を行ったことから、地域住民の反発も大きかったそうです。しかし、取締役会に商工会や林業組合といった地域の方が多く入って改革を見守ってもらい、数年をかけて理解を得るにいたりました。現在では地域が一体となり、行政が行いにくい事業に挑戦できるようになりました。

【講義Ⅲ】世界一チャレンジしやすい町

こゆ地域づくり推進機構の高橋邦男氏が、こゆ地域づくり推進機構の取り組みについて講義しました。

宮崎県新富町役場はかねてより社会課題の解決に力を入れていましたが、役場では限界があることから、地域商社であるこゆ地域づくり推進機構を設立。強い地域経済を作ることをミッションとし、稼いだお金を人材育成に使うことで地域経済の好循環を生み出そうとしました。当初の出資金はわずか300万円、職員も素人でノウハウもなかったため、試行錯誤しながらの運営だったということですが、それが失敗を恐れずチャレンジする風土につながっています。現在は新富町で新たな事業にチャレンジする起業者と関係者とをつなぐ中間支援組織の役割も担ったり、朝市を運営したり、活動の幅を広げています。チャレンジする風土は町役場やJAなど他の組織にも広がっており、町全体が活性化しています。

【個人ワーク・グループワーク・質疑応答】

コアなファンを獲得できるような地域独自の物語について考え、その後グループに分かれて考えた物語や講義の感想を共有しました。地域商社を行政主導で設立しようとする際、住民の理解が得られず悩んでいるという参加者に対し「地域住民が主体的にならないとうまくいかない。地域商社は地域を豊かにするために設立するものである。設立を目的にするのではなく、場合によっては別の手段を考える必要がある」という中村氏の言葉が印象に残りました。

◆本セミナーの講師

一般財団法人民間都市開発推進機構 まちづくり支援部 担当部長	中村 郁博 氏
株式会社SMO南小国未来づくり 事業部部長	安部 千尋 氏
一般財団法人こゆ地域づくり推進機構 執行理事／編集者	高橋 邦男 氏

●浦 達也（富山県氷見市地域振興課）
前・地域活性化センター副参事







まじめ
えひめ

まじめにHP公開中＼ majime-ehime.com

首長の思い
column



新たなまちの変革

―ひと、まち、さとの魅力を活かすまちづくり―

兵庫県三田市長　森　哲男

兵庫県三田市は、県の南東部にあり、神戸市の市街地からは北に約25キロ、大阪市より北西に約35キロに位置します。市域は、総面積約210・32平方キロで、周辺部は山地が多く、南東部には耕作地のある三田盆地が開けています。市の西部から南東部にかけて武庫川が貫流し、豊かな自然に恵まれています。

本市は、昭和33年に人口約3万2千人の市として誕生しました。穏やかな農村集落の小都市として発展してきましたが、昭和50年代の大規模な北摂三田ニュータウン開発を契機に大阪・神戸のベッドタウンとして急速に発展しました（昭和62年から10年連続で人口増加率日本一）。平成12年には人口約11万人に達しましたが、その後増加は緩やかになり、平成25年以降は減少に転じました。

この間、本市は、穏やかな農村集落の小都市から、ニュータウン・駅前の既成市街地・農村地域が隣接する多様なまちへと大きく変貌しました。最近は、「都市回帰」の傾向もあり、人口急増期に大幅な転入超過であった状況から一転して、大阪・神戸をはじめとした便利な都市部への転出、特に20歳代を中心とした若年層の転出傾向が強まっています。本市は、今、こうした「急激な人口減少」の難題と、昭和50、60年代にニュータウンに転入してきた世代が、一時に高齢化を迎えるという「急激な高齢化」の難題にも直面しています。

一方、この間、まちの魅力が醸成されてきました。それは、「ひと」「まち」「さと」の魅力です。「ひと」それは学生を中心とした若者の力です。本市は、ニュータウン開発に伴い、関西学院大学神戸三田キャンパス、兵庫県立人と自然の博物館等の高等教育・研究機関の誘致・整備に努めてきました。その結果、今や約7000人の学生および教職員が本市に集まっています。「まち」それは駅前再開発やニュータウン開発に伴い充実した住宅都市機能です。そして「さと」は豊かな里山に囲まれた農村の風景や生活の匂いです。しかも「ひと」「まち」「さと」が結びついていることが本市の大きな魅力です。

本市は、前述した「二重の難題―急激な人口減少と高齢化」を、何としても乗り越えなければなりません。こうした難題を乗り越えるため、三田市では、人口減少にも負けない「新たなまちの変革」に取り組むこととしました。

その「まちの変革」の目指すところは、前述した三つの魅力を活かした未来都市です。今春、令和4年度から令和13年度までの10年間のまちづくりの道標となる第5次三田市総合計画を策定し、今後のまちづくりの基本目標を「ひと×まち×さと　が織りなす未来都市　三田」としました。そして、まちの姿を変えていくような「まちの変革」を進めていかなければ、三田のまちの未来はないと強く感じています。

具体的な変革とは、①まちの再生（駅前の再開発、ニュータウンの地域活性化）②さとの再生（農村地域の地域活性化）③地域医療体制の確保④教育・子育て環境の充実⑤さんだ里山スマートシティの推進⑥ゼロカーボンシティへの挑戦⑦人権共生のまちづくり――等です。その中でも、③の「地域医療体制の確保」は、市民病院の再編・統合を伴うものであり、④の「教育・子育て環境の充実」も、市立の幼稚園・小中学校の再編・統合を伴うものであります。

再編・統合問題は、コミュニティも含めて大きく「地域のかたち」が変わるものであり、市民の理解・協力を得るのに大きなエネルギーを必要とします。しかし、まちの未来を預かる首長としては、「未来への責任感」を持ってそれにしっかりと対応していく必要があるのではないかと思います。

手前みそですが…

香川県

土庄町 279



■エンジェルロード
潮の満ち引きで現れたり消えたりする不思議な砂の道。大切な人と手をつないで渡ると願いがかなうと言われている。

土庄町は瀬戸内海国立公園の東部に浮かぶ小豆島の西北部に位置し、東および南に境を接する小豆島町とともに香川県に属します。瀬戸内海式の穏やかな気候、美しい景観を持ち、豊かな海の幸・山の幸のもと、おもてなしの心が育まれ、伝統文化とともに受け継がれてきた、観光資源が豊富なまちです。

コロナ禍前においては、年間100万人を超える来訪者を迎える観光地で、2010年に始まった瀬戸内国際芸術祭により、国内のみならず、海外からも「アートのまち」としてさらに注目を集めるようになりました。

近年では、アフターコロナを見据え、小豆島の海や山などの豊かな自然を活かしたハイキングイベントやSUP（スタンドアップ・パドルボード）、またアニメを活用した聖地巡礼によるまちなか周遊など、既存の観光スポットともうまく組み合わせた体験型コンテンツに力を入れています。



■小豆島島鱧
小豆島近海で多く獲れる高級魚のハモ。その中で4つの基準を満たすハモのみが「小豆島島鱧」として流通する



■土渕海峡
「世界一狭い海峡」として1996年にギネス認定されている。町役場では、渡った記念に横断証明書を発行している



■太陽の贈り物
オリーブをモチーフにした瀬戸内国際芸術祭2013のチェ・ジョンファ氏による作品で、土庄港のシンボルとなっている



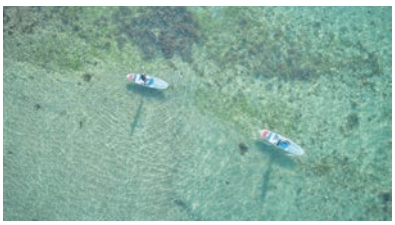
■小豆島オリーブ牛
オリーブの搾りかすで飼料を作り、その「オリーブ飼料」で肥育している。肉質はやわらかで、ヘルシーな和牛



■宝生院のシンパク
国指定の特別天然記念物で日本最大のものといわれており、周囲約16.9㍍、高さ約20㍍もある老巨樹



■迷路のまち
西光寺周辺の町並みは、複雑に入り組んだ迷路のような路地となっており、全国に現存する数少ない「迷路のまち」の一つ



■アウトドア体験コンテンツ（SUP）
自然豊かな土庄町の美しい海を活用した体験コンテンツとして、注目を集めている

地域づくり５月号

2022年５月１日発行　編集・発行＝一般財団法人地域活性化センター
東京都中央区日本橋2-3-4 日本橋プラザビル13階 電話03-5202-6131(代)
https://www.jcrd.jp/　印刷・製本／株式会社太平印刷社

法律で許可された場合以外に本誌からの無断転載を禁止します
落丁・乱丁はお取り替えします。編集室（03-5202-6139）E-mail：hensyuu6139@jcrd.jp まで、ご連絡下さい。

地域活性化センターからのメールマガジン登録はこちら

地域づくり5月号（通巻395号）令和4年5月1日 一般財団法人 地域活性化センター発行

宝くじは、みんなの暮らしに役立っています。

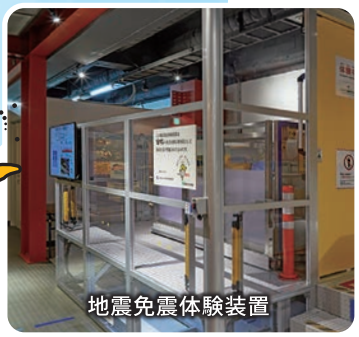

移動採血車


ユニバーサルデザイン施設
ピクニックテーブル


一輪車


宝くじ桜


こどもの国 ふれあい学び館


地震免震体験装置


星空観察映像展示施設


ドリームジャンボ絵本


消防団防災学習・災害活動車両


テント


総合検診車


フラワープランター

宝くじは、図書館や動物園、学校や公園の整備をはじめ、
災害に強い街づくりまで、みんなの暮らしに役立っています。

あなたに夢を。街に元気を。
クーちゃん 宝くじ

一般財団法人日本宝くじ協会は、宝くじに関する調査研究や
公益法人等が行う社会に貢献する事業への助成を行っています。

一般財団法人
日本宝くじ協会
https://jla-takarakuji.or.jp/

2022
5
ISSN 1340-8917



令和３年度 ふるさとイベント大賞

地域づくり 特集編

目 次　表紙裏　第26回ふるさとイベント大賞表彰式・2022地方創生フォーラム in 東京を開催

大賞（内閣総理大臣賞）　大分国際車いすマラソン【大分県】…2

最優秀賞（総務大臣表彰）　山形名物日本一の芋煮会フェスティバル【山形県山形市】…4

優秀賞　SHIROFES. ―踊れ、遊べ、弘前でも世界でも。―【青森県弘前市】…6
第70回となみ チューリップフェア【富山県砺波市】…8　音信川うたあかり【山口県長門市】…10

ふるさとキラリ賞　『オペラ「石見銀山」』の制作、継続公演 祝「日本遺産認定」オペラ石見銀山 オールキャストコンサート【島根県大田市】…12
第24回 いわみ子供神楽フェスタ 2021【島根県浜田市】…13

選考委員特別賞　全国「かまぼこ板の絵」展覧会【愛媛県西予市】…14

次点〈18団体〉

第37回いわみざわ百餅祭り【北海道岩見沢市】…15
沼田町夜高あんどん祭り【北海道沼田町】…17
近江中世城跡琵琶湖一周のろし駅伝【滋賀県米原市】…19
書道パフォーマンス甲子園【愛媛県四国中央市】…21
きくち夏まつり　菊池白龍【熊本県菊池市】…23
古利根川流灯まつり【埼玉県杉戸町】…25
海で水球【新潟県柏崎市】…27
赤目渓谷『幽玄の竹灯』【三重県名張市】…29
見ぬ友と心結ぶのろしリレー2020【広島県広島市安芸区】…31
撮りフェス in 室蘭2021【北海道室蘭市】…16
メルヘンおやべ源平火牛まつり【富山県小矢部市】…18
瀬戸内国際芸術祭2019【香川県】…20
国際渓流滝登り in ななやま【佐賀県唐津市】…22
2021吹上浜砂の祭典【鹿児島県南さつま市】…24
山古志 棚田・棚池あかりのページェント【新潟県長岡市】…26
金沢市デジタル工芸展【石川県金沢市】…28
FactorISM ～アトツギたちの文化祭～【大阪府八尾市】…30
祐徳門前商店街イベントさが祐徳ｅスポーツ大会【佐賀県鹿島市】…32

都道府県漫遊（愛媛県）…33

2022年5月1日発行　編集・発行＝一般財団法人地域活性化センター ©2019 jcrd.jp
東京都中央区日本橋2-3-4 日本橋プラザビル13階 電話03-5202-6131（代）https://www.jcrd.jp/　印刷・製本／株式会社太平印刷社

本誌は、宝くじの社会貢献広報事業として助成を受け作成されたものです

第26回ふるさとイベント大賞表彰式・2022地方創生フォーラム in 東京を開催

地域活性化センターでは、2022年3月8日（火）に「第26回ふるさとイベント大賞表彰式」と「2022地方創生フォーラムin東京」を開催しました。今回は表彰式の様子や講師の講演などをユーチューブで同時配信し、多くの方にご視聴いただきました。

■プログラム

13：00～　第26回ふるさとイベント大賞表彰式
14：10～　2022地方創生フォーラム in 東京「『公民連携』×『地域資源』による地域活性化～豊かな自然を地域の魅力に～」

【基調講演】後藤 健市 氏（株式会社スノーピーク取締役、株式会社スノーピーク地方創生コンサルティング代表取締役会長）

【事例発表】山口 祥義 氏（佐賀県知事）
遠藤 充儀 氏（株式会社コスモスイニシア執行役員）



大賞「大分国際車いすマラソン」の表彰



表彰式の様子



表彰式出席者などによる記念撮影

第26回ふるさとイベント大賞の概要

「ふるさとイベント大賞」は、全国各地で開催されている地域の活力を生み出すイベントを表彰し、紹介することによって、ふるさとイベントのさらなる発展を応援することを目的に設けられた賞です。

今回で26回目を迎え、第25回までに、186の個性豊かなイベントを表彰しています。

今後も、ふるさとイベントの創造・発展を促すことで、地域固有の風土・伝統・暮らしを守るとともに、地域に対する愛着と誇りを育み、内外との交流につながる地域の活性化を目指しています。

第26回ふるさとイベント大賞は特別にこれまでを振り返ることとし、第1回～第25回の各受賞イベントおよび第21回～第25回の次点イベントついても対象としました。

●応募対象イベント

下記の①、②いずれかに該当するイベントを対象とする。

①第1回～第25回までに大賞、最優秀賞等各賞を受賞したイベント
※今年度の開催の有無は問わない。ただし、来年度以降継続性があるものとする。

②第21回～第25回までの次点イベント
※今年度の開催の有無は問わない。ただし、来年度以降継続性があるものとする。

③2020年7月1日から2021年6月30日までに市区町村（広域を含む）で開催されたイベント
※現在の状況を考慮し、オンライン開催も対象とする。また、規模の縮小や内容の変更などがある場合でも、イベントを継続することで、そのイベントが本来持つ意味を伝えようと創意工夫を凝らしているものも含む。ただし、継続性がなく1回の開催のみで終了するイベントは対象外とする。

●選考過程

イベント主催団体から、市区町村等を通じ、都道府県へ応募書類を提出していただきました。今回の応募総数は74件でした。

応募されたイベントについては、イベントプロデューサーや学識経験者等により構成する「第26回ふるさとイベント大賞選考委員会」において、厳正な審査を行い、受賞イベントを決定しました。

なお、選考にあたり、右記の選考基準を基にイベント内容を総合的に判断しました。

●選考基準

	評価のポイント
企画	・地域資源を積極的に活用している。（地域資源：風土、産業、食文化、伝統文化、歴史、特産物、建築物・構造物など） ・独創性にあふれ、新たな地域の魅力を創り出している。 ・多くの人をひきつける魅力がある。 ・魅力を増すための創意工夫が顕著である。
運営	・地域住民が積極的に参加している。（参加することに誇りを持っている） ・地域の内外を問わず、交流や連携が行われている。 ・継続して開催されており（継続される見込みがあり）、将来の発展性が見られる。
効果	・地場産業の振興や観光客誘致など、経済的な波及効果がある。（低予算でも波及効果が大きいなど） ・地域の知名度アップに貢献している。 ・地域住民の郷土意識の高揚につながっている。 ・伝統文化の継承や新しい文化の創造につながっている。

選考委員長の総評　北川 フラム氏（株式会社アートフロントギャラリー代表取締役／アートディレクター）


©Mao Yamamoto

ながく続いたその地を代表するイベントにはふたつの型があるようです。〈大分国際車いすマラソン〉はその土地だけではなく、世界共有の課題に対して開かれたイベントで、多くのボランティアに支えられ、地元と外にある普遍性が交流しています。

これに対して〈山形名物　日本一の芋煮会フェスティバル〉は秋の山形ではどこでも見られる里芋、豚コマ、大根、人参、ゴボウをいれこんだピクニック仕様の芋煮会を大掛かりに盛り上げたもので、土地に固有な生活に根ざしたものです。

〈SHIROFES.―踊れ、遊べ、弘前でも世界でも。―〉は津軽の伝統を現代に活かしたものだし、〈第70回となみチューリップフェア〉は文字通りの砺波のチューリップで、〈音信川うたあかり〉は郷土の詩人、金子みすゞに因んだものです。〈全国「かまぼこ板の絵」展覧会〉はそんななかでのアイデアのヒットでしょう。審査はいつも楽しいことを報告しておきます。

問い合わせ先

一般財団法人 地域活性化センター
地域創生部地域創生課　前田

〒103-0027 東京都中央区 日本橋 2-3-4
日本橋プラザビル13階

TEL 03-5202-6136　FAX 03-5202-0755
E-mail：event@jcrd.jp　HP：https://www.jcrd.jp/



大賞　内閣総理大臣賞
大分国際車いすマラソン
2021年11月21日（日）
【開催場所】大分市内コース







評価のポイント

●世界最大級の車いすマラソンイベントであり、このイベントを通じて世界各国の車いすの方々が交流し地域を盛り上げている。
●「世界トップレベルの障がい者スポーツイベント」かつ「大分の秋を彩るビッグイベント」としても広く定着している。
●ボランティア等に支えられ、毎年の大会が円滑かつ盛況に運営されている。また、県内選手と地域の年間を通した交流事業のみならず、大会直前の海外選手来日期間中には、県民有志の通訳ボランティアグループ主催で海外選手と地域の小学生等による草の根型の国際交流事業も行われている。

次回開催日程

■開 催 日：令和4年11月中旬
■開催場所：大分市内コース
■問い合わせ先
・団 体 名　大分国際車いすマラソン事務局（大分県障がい者スポーツ協会内）
・住　　所　〒870-8501 大分県大分市大手町3丁目1番1号
・電話番号　097-533-6006　　・URL　https://kurumaisu-marathon.com

大賞

第26回
ふるさとイベント大賞

内閣総理大臣賞

大分国際車いすマラソン

大分県





大分国際車いすマラソンは、1981年の国際障害者年に中村裕博士（社会福祉法人太陽の家創始者）の提言で始まった、世界で初めての車いすだけのマラソン大会です。

昨年第40回大会を開催した本大会は、これまで世界78カ国・地域から延べ11,691人の車いすアスリートが参加するとともに、毎年2,000人を超えるボランティアが参加しています。また、本大会のコースではマラソン男女3クラスの記録が公認世界記録となっています。加えて現在のパラリンピックでは、障がいの重いクラスの車いすマラソン競技は実施されていませんが、本大会ではそうしたクラスでのレースも実施されており、障がいの重い選手にとって貴重な国際大会の場となっているなど、国内外多くの車いすアスリートにとって「OITA」に出場することは、憧れのような存在になっています。

当日のレースの模様は全国に向け実況生中継でTV放映されるだけでなく、レース前日の開会式は地元商店街を会場に選手と市民の交流型イベントとして開催されるなど、世界トップレベルのスポーツイベントというだけでなく、大分の秋を彩るビッグイベントとしても広く定着しています。

大会前後には、大分の街に車いすアスリートがあふれ、障がいの有無にかかわらず歓迎し触れ合う姿があちこちで見られるなど、誰もが安心して過ごせる共生社会の実現にも寄与していると考えています。

近年、コロナ禍で世界中のさまざまなスポーツイベントの中止・延期が相次いでいますが、本大会では医師など専門家の助言の下、実効性のある感染防止対策や海外選手向け防疫対策のガイドラインを策定するなど、昨今の情勢に即した安全・安心な大会運営にも力を入れています。「OITA」開催を待ち望む世界中の車いすアスリートらのために、今後も関係者一丸となって、新しい時代にふさわしい挑戦を続けていきます。

主催者メッセージ

1981年の国際障害者年から世界で初めての車いすだけのマラソン大会として始まった大分国際車いすマラソンは、昨年40回を迎えました。国内外からアスリートが集まり、トップアスリートや障がいの重い選手がともに走る姿は、必ず見る方々に感動をお届けします。皆さんもぜひご覧になり、車いすマラソンの世界にどっぷり浸かってください。



大分国際車いすマラソン事務局
事務局長
渡邉 仁さん

開催DATA

自治体名	大分県
自治体人口	1,113,607人 ※R3.12.1現在の住民基本台帳人口
主催団体	大分県、公益財団法人日本パラスポーツ協会・日本パラリンピック委員会、一般社団法人日本パラ陸上競技連盟、大分市、大分合同新聞社、社会福祉法人大分県社会福祉協議会、大分県障がい者スポーツ協会
開催回数	40回
開催日	令和3年11月21日（日）
開催場所	大分市内コース
観客数	約2,000人（関係者含む）







評価のポイント

●日本一の大鍋で調理し、バックホーを使用して芋煮をすくいあげる様子はインパクトが大きい（コロナ禍以前の通常時）。
●ほとんどの具材は県産物であり、県産農産物の消費拡大と観光誘客に貢献している。
●コロナ禍にあっての代替企画ではあったが、PRに努め、伝統を絶やさず継続することは、次の開催、さらなる飛躍につながると考えられる。

次回開催日程

■開 催 日：令和4年9月18日（日）　■開催場所：山形市 馬見ヶ崎川河川敷
■問い合わせ先
・団 体 名　日本一の芋煮会実行委員会
・住　　所　〒990-8501 山形県山形市七日町三丁目1番9号（山形商工会議所内）
・電話番号　023-622-0141、023-622-4666（山形商工会議所）
・U R L　https://imoni-fes.jp/

最優秀賞

第26回
ふるさとイベント大賞

総務大臣表彰

山形名物 日本一の芋煮会フェスティバル

山形の秋の風物詩として地域の人々に愛される「芋煮会」を日本一の規模で開催するフェスティバルです。山形の食文化・秋の芋煮会を全国に発信し、地域産業の振興と地場産業の活性化を図ることを目的に平成元年より開催しています。直径6.5㍍の日本一の大鍋「三代目鍋太郎」で調理される芋煮は味もスケールも日本一！　里芋4㌧、牛肉1.4㌧、水7㌧、こんにゃく5,500枚、ねぎ5,000本、醤油820㍑、日本酒162㍑（90升）、砂糖200㌔を使用し30,000食が配膳されます。使用される食材は砂糖を除きすべて山形県産です。第30回開催の際には、「8時間で最も多く提供されたスープ」としてギネス世界記録に認定されました。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で通常開催は中止としましたが、感染症対策を講じた上で、代替イベントとしてドライブスルー形式の芋煮会「ドライブスルーで芋に恋して」を実施しました。初めての試みとなったドライブスルー芋煮会の開催は、会場をこれまで開催してきた馬見ヶ崎から須川に変更し、配布方法も安心安全に日本一の味をお届けできるよう何度も会場となる河原へ足を運び検討を重ねました。当日の様子は全国放送のニュースにも取り上げられ、コロナ禍にあって山形県産農産物および観光に大きく貢献することができ、山形名物・日本一の芋煮会フェスティバルを全国へPRし、フェスティバルの歴史に新たな足跡を残すことができたと思っております。

令和3年度は残念ながら中止となってしまいましたが、本実行委員会が監修し、フェスティバルで使用予定であった食材を利用した「レトルト芋煮」を開発し、配布することで、食品ロスを軽減するとともに次年度へ向けてのPRを行いました。

来秋にはぜひ山形にお越しいただき、日本一の芋煮をご賞味下さい。

主催者メッセージ



直径6.5㍍の「日本一の大鍋」で調理し、バックホーを使用して芋煮をすくいあげる風景はインパクト大！

バックホーは新品を準備し、大鍋に浸るアームの部分はすべて分解し、潤滑油を家庭用洗剤で洗浄した後、食用バターを塗りこんだ衛生面に配慮した特別仕様です。

日本一の芋煮会フェスティバル
実行委員会委員長
公平 雅士さん





開催DATA

自治体名	山形県山形市
自治体人口	242,284人 ※R3.12.1現在の住民基本台帳人口
主催団体	日本一の芋煮会フェスティバル協議会
開催回数	33回（令和3年度現在　ただし、第33回は中止）
開催日	敬老の日の前日の日曜日
開催場所	山形市 馬見ヶ崎川河川敷 双月橋付近
観客数	38,000人（令和元年・第31回）







評価のポイント

●津軽郷土芸能である津軽三味線、津軽笛、ねぶた囃子の生演奏、全国大会強豪校の地元高校生書道部パフォーマンスや、鎧の着付け体験といった、弘前ならではの伝統文化をふんだんに取り入れている。
●SNSを用いて開催したダンス世界大会の予選には、過去最高の42カ国から1,238人が参加するなど、オンラインで弘前の魅力を世界中に発信している。

次回開催日程

■開 催 日：2022年7月2日、3日（2日間）
■開催場所：星と森のロマントピア
■問い合わせ先
・団 体 名　ひろさき芸術舞踊実行委員会
・住　　所　〒036-8181
・電話番号　0172-88-6499　　・URL　https://www.hirosakigeijyutu.com/

優秀賞

第26回 ふるさとイベント大賞

地域活性化センター会長表彰

SHIROFES.

―踊れ、遊べ、弘前でも世界でも。―

SHIROFES.は、弘前の重要な歴史的建造物であり、日本有数の桜の名所として有名な「弘前城」を舞台に、2016年より開催している、世界最大級のダンス&パフォーマンス複合フェスティバルです。

津軽郷土芸能の生演奏、地元高校生書道部パフォーマンスや、鎧の着付け体験といった、弘前ならではの伝統文化をふんだんに取り入れつつも、ダンスの世界大会やエクストリームスポーツの世界トップアスリートによるステージなど、世界最高峰のパフォーマンスが弘前城の前で繰り広げられるということで、地元住民だけでなく、世界中から注目を集めてきました。また、会場内には、県外から来た方に地域の産業や特産物を知ってもらう工夫も施しているほか、eスポーツの体験コーナーや地元アーティストによる音楽ライブ、ダンスやエクストリームスポーツのワークショップなどを会場のいたる所で開催。弘前城をテーマパークのように活用して『津軽文化とダンス&カルチャーのクロスオーバー』を目指し、子供から大人まで国境や世代も越えて多くの人に楽しんでもらえるイベントとして多くの方に親しまれてきました。

開催当初の2016年の経済効果は3,600万円でしたが、2019年の開催時には2億2,000万円の経済効果を産み、関連するYouTube動画の再生回数、SNSのシェア数も増加していきました。

しかし、さらなる期待感を持って迎えた2020年、新型コロナウィルスが猛威をふるったため、私たちは予定していたほぼすべてのコンテンツを限られた予算の中、“オンライン”という形で開催することに踏み切りました。

SNSを用いて開催したダンス世界大会の予選には、過去最高の42カ国から1,238人が参加、例年はステージの上でパフォーマンスしていた多くの出演者も参加してくれて、「SHIROFES. ONLINE」という形で世界中に感動を届けることができました。

コロナ禍で失っていた発表の機会や楽しむ場を創出することができ、地域や世代を超えて楽しめるイベントへと変化させ世界に誇れるフェスを実施できました。

主催者メッセージ



SHIROFES.は、弘前の歴史的建造物である弘前城を舞台に、2016年より開催している、世界最大級のダンス&パフォーマンス複合フェスティバルです。

津軽郷土芸能の生演奏等、弘前ならではの伝統文化を取り入れつつも、ダンスの世界大会など、世界最高峰のパフォーマンスが弘前城の前で繰り広げられるということで、世界中から注目を集めています。

ひろさき芸術舞踊実行委員会委員長

岩渕 伸雄さん





開催DATA

自治体名	青森県弘前市
自治体人口	166,385人 ※R3.12末現在の住民基本台帳人口
主催団体	ひろさき芸術舞踊実行委員会
開催回数	7回（2016年～ 2022年）
開催日	2020年7月5日
開催場所	弘前城本丸
観客数	10,000人



評価のポイント

●地域資源であるチューリップの展示だが、さまざまなバリエーションとスケールの大きさで楽しませる工夫を行っている。
●地域住民がチューリップの植込みや主会場となるチューリップ公園の清掃、公園内の案内ボランティアなどにも協力している。
●イベント期間中には民謡・民舞の団体によるステージ披露や小中高校生による吹奏楽のパレードも実施しており、文化芸術の披露の場ともなっている。

次回開催日程

■開 催 日：2022年4月22日（金）～ 5月5日（木･祝）
■開催場所：砺波チューリップ公園（主会場）
■問い合わせ先
・団 体 名　（公財）砺波市花と緑と文化の財団（チューリップ四季彩館）
・住　　所　〒939-1381 富山県砺波市中村100番地の1
・電話番号　0763-33-7716　　・URL　http://www.tulipfair.or.jp

優秀賞

第26回
ふるさとイベント大賞

地域活性化センター会長表彰

第70回となみチューリップフェア







となみチューリップフェアは、地域産業であるチューリップ生産の発展と観光振興の両立を図るイベントとして、1952年に第1回を開催してから「昭和」「平成」「令和」へと引き継がれ、今日ではチューリップ球根の出荷量日本一の強みを生かし、国内最大級300品種、300万本のチューリップで会場いっぱいを彩ることで、国内外からの来場者30万人を魅了する北陸を代表する花の祭典へと発展した。また、砺波市では地域住民による「おもてなしの心」で観光客の皆さまをお迎えするまちづくりを推進しており、毎年、延べ4,000人を超える市民ボランティアが参画している。2021年に記念すべき第70回を迎えることができたフェアだが、前年に開催予定だった2020年の第69回フェアは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により史上初めての中止を余儀なくされたため、第70回フェアではコロナ対策に万全を期すことで、2年分の想いを込めて開催することができた。また、第70回砺波チューリップフェアの開幕を記念して、富山県では初となる航空自衛隊第11飛行隊「ブルーインパルス」の展示飛行が行われ、全国的にも注目を集めた。このことは次年度以降のチューリップフェアの注目度向上、誘客促進、そしてウィズコロナの時代を迎え、どのように大型イベントを開催していくかの道筋をつけたことなど、大変有意義なものであった。フェア会場内の見どころとして人気が高いのは、約21万本のチューリップで毎年さまざまな地上絵を描く「大花壇」や富山県の有名な観光スポットである立山アルペンルートの「雪の大谷」をイメージした高さ4㍍×全長30㍍にも及ぶチューリップの回廊「花の大谷」、砺波市発案の「水上花壇」などがある。会場ではリピーターの方にも満足してもらえるよう、工夫と趣向を凝らしたチューリップ展示を行うことで、となみチューリップフェアは移り行く時代とともに成長と変化を続け、多くの皆さまに感動を与えている。

主催者メッセージ



フェアの会場内では、約2,600平方㍍に約21万本のチューリップで、毎年さまざまな地上絵の模様を描く大花壇、立山アルペンルートの「雪の大谷」をイメージしたチューリップの花の回廊、高さ4㍍×全長30㍍の「花の大谷」、第70回を記念に登場した「新チューリップタワー」、ひょうたん池と呼ばれる湖面にチューリップの島が浮かぶ「水上花壇」などがあります。

公益財団法人砺波市花と緑と文化の財団
事務局長（チューリップ四季彩館長）
佐伯 幹夫さん

開催DATA

自治体名	富山県砺波市
自治体人口	47,626人 ※R3.12末現在の住民基本台帳人口
主催団体	砺波市・（公財）砺波市花と緑と文化の財団・（一社）砺波市観光協会
開催回数	第70回（令和3年度）
開催日	2021年4月22日（木） ～5月5日（水・祝）
開催場所	砺波チューリップ公園（主会場）
観客数	148,000人







評価のポイント

●自然豊かな温泉街らしい魅力的な夜間情緒を実現している。
●長門市出身の童謡詩人、金子みすゞの詩を視覚的なテーマとするのみならず、市民による朗読や合唱などの手法で詩そのものを光と融合させる照明演出によって表現している。
●温泉街のリニューアル前はほとんど見られなかった若年層が夜のそぞろ歩きを楽しむシーンを実現している。
●第3回では、市民20名による詩の朗読と園児による合唱が照明演出のBGMとして使用されると共に、市内すべての幼稚園・保育園の園児、小学校児童、中学校生徒が手作りした約3,000個の紙製ランプシェード「あかりのうつわ」を設置することができ、地域総出でイベントに関わっている。

次回開催日程

■開 催 日：2023年2月（予定）
■開催場所：長門湯本温泉
■問い合わせ先
・団 体 名　長門湯本温泉まち株式会社
・住　　所　〒759-4103 山口県長門市深川湯本1260番地1
・電話番号　0837-25-6400　　・URL　https://yumotoonsen.com/

優秀賞

第26回
ふるさとイベント大賞

地域活性化センター会長表彰

音信川うたあかり

山口県でもっとも古い約600年の歴史をもつ長門湯本温泉。観光まちづくり計画が進む温泉街には、地域の若手によって再建されたモダンな立ち寄り湯「恩湯」や、地元グルメが味わえる飲食店、清流音信川沿いにのびる飛び石や川床、街中を照らす幻想的なライトアップなど、楽しめる場所がたくさんです。

この長門湯本温泉の冬の風物詩が、温泉街を流れる音信川を舞台に行われる「音信川うたあかり」、長門市出身の童謡詩人、金子みすゞの詩をテーマにした灯りイベントです。

詩のナレーションに合わせた幻想的な光の演出「うたあかり幻燈輪舞」では、温泉街の中心にある竹林の階段を舞台に、金子みすゞの詩の朗読と音楽にあわせて、いくつもの影絵が踊ります。周辺の竹林のライトアップや広場の照明もあわせて変化する「音と光のエンターテインメント」をお楽しみください。

隣接する「みすゞのお庭」では、市内すべての小中幼保の子どもたちが制作した数千個の「あかりのうつわ」を会場に設置、訪れた方々を温かくお出迎えします。

この他にも、地元の萩焼作家さんのご協力により小学生が制作した萩焼ランプシェードや地元住民が制作したあかりのモチーフなどで、音信川を中心とした温泉街全体が、金子みすゞをテーマに幻想的に彩られます。

長門湯本温泉の冬の風物詩「音信川うたあかり」で、この季節、この場所だけの特別な風景を、是非お楽しみください。





主催者メッセージ



「音信川うたあかり」は、地域・事業者・行政一体での再生を目指す長門湯本温泉の象徴的な取り組みです。自然豊かな温泉街を舞台にした地域固有の冬の風物詩。市内の小中幼保すべての子どもたちが参加する、地域総出での幻想的な温かいおもてなしが「金子みすゞ」の詩とともに、多くの方に届くことを願っています。

長門湯本温泉まち株式会社
エリアマネージャー
木村 隼斗さん

開催DATA

自治体名	山口県長門市
自治体人口	32,336人 ※R3.12末現在の住民基本台帳人口
主催団体	長門湯本温泉まち株式会社
開催回数	4回
開催日	毎年2月
開催場所	長門湯本温泉街
観客数	約15,000人

ふるさとキラリ賞

第26回 ふるさとイベント大賞

『オペラ「石見銀山」』の制作、継続公演 祝「日本遺産認定」オペラ石見銀山 オールキャストコンサート



オペラ「石見銀山」実行委員会では、平成29年7月2日に迎えた石見銀山世界遺産登録10周年を機に、西洋舞台芸術オペラと島根県石見地域の伝統芸能である「石見神楽」を融合させた『オペラ「石見銀山」』を制作し、これまで地元大田市民会館で2回、新国立劇場で1回、東京文化会館で1回の公演を行ってきた。

令和2年4月には新型コロナウイルスにより、全国で緊急事態宣言が発令され、文化・芸能活動は公演中止等により多大な影響を受けた。そんな中、令和2年6月19日に島根県大田市が申請していた「石見の火山が伝える悠久の歴史～“縄文の森”銀(しろがね)の山”と出逢える旅へ～」が日本遺産に認定され、地域にとって明るいニュースが流れ、大田市全体を元気付けるものとなった。日本遺産の構成文化財にはオペラの題材にもなった、世界遺産石見銀山遺跡も含まれていることから、当実行委員会でも喜びにあふれた。





新型コロナウイルスによる沈滞ムードの中にある地域を元気付けることや、自粛が続く文化・芸能活動について、感染症対策を万全に取りながら、Withコロナ時代を見据えた地域での継承を模索していくことを目的に、この「オペラ石見銀山オールキャストコンサート」を開催することとした。

屋外にステージを組み、鳥のさえずりや木々の音をBGMに、オペラの挿入歌をコンサート形式で歌唱した。伴奏はオペラの挿入歌を作曲した音楽博士の中村匡宏氏が担当し、オペラを彷彿とさせる情緒あふれる演奏が花を添えた。

出演者は島根県大田市の観光大使で大田市出身者を含むオペラユニット「ザ・レジェンド」の他、大田市に縁のあるオペラ歌手で構成した。地元合唱団は、既存のメンバーに加え、新たに地元三瓶地域の小学生らの参加があり、プロ歌手と地元合唱団のコラボ出演とした。

令和4年は世界遺産登録15周年を迎え、この節目に再演し、末永く後世に演じ歌い継がれる地域独自の文化芸術作品として育てて行きたい。





次回開催日程

■開 催 日：令和4年11月2日（水）
■開催場所：京都劇場
■問い合わせ先
・団体名
　オペラ「石見銀山」実行委員会
・住所
　〒694-0041 島根県大田市長久町長久イ555
・電話番号：0854-82-0170
・MAIL：shimane-kanbanya@air.ocn.ne.jp

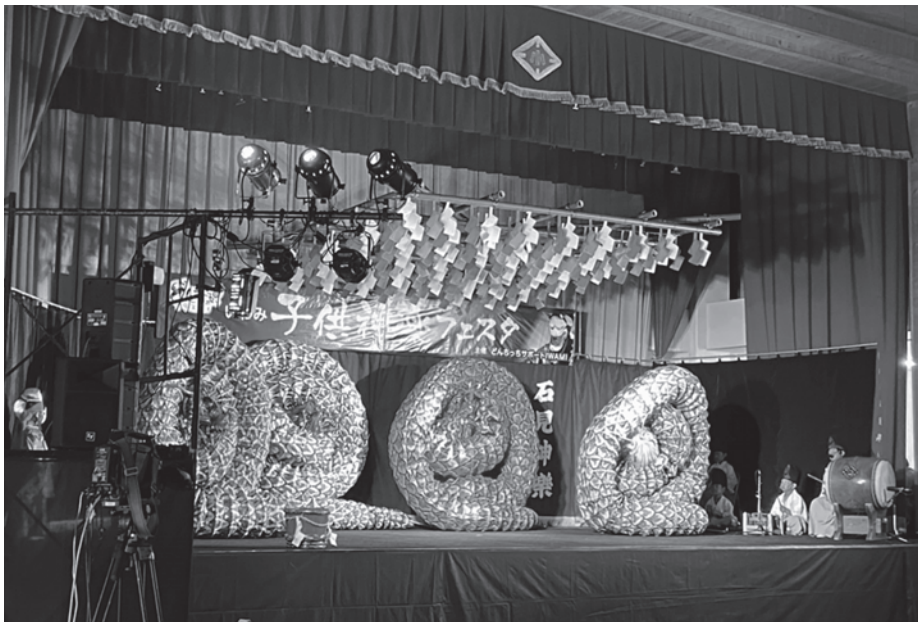
開催DATA

自治体名	島根県大田市
自治体人口	33,243人 ※R3.12末現在の住民基本台帳
主催団体	オペラ「石見銀山」実行委員会
開催回数	1回
開催日	令和2年10月4日（昼夜2回公演）
開催場所	昼：国立三瓶青少年交流の家 夜：大田市民会館
観客数	739人

ふるさとキラリ賞

第26回
ふるさとイベント大賞

第24回 いわみ子供神楽フェスタ 2021



我々、どんちっちサポートIWAMIが所在する島根県西部の浜田市は石見地方と呼ばれ、この地域には古くから石見神楽という伝統芸能が存在しています。石見地方には石見神楽を継承している団体が180以上存在し神楽が盛んな地域であります。

当会は1998年に前身団体が結成され、2008年にどんちっちサポートIWAMIと改名しました。子供神楽フェスタは、前身団体結成当時に、地域の宝である伝統芸能「石見神楽」の伝承者育成と青少年健全育成を目的に第1回を開催、以来、毎年開催し、2021年で24回目となりました。例年、子どもたちの学び舎である市内の小中学校の体育館を会場とし、地域住民はもとより県外から多くの方々に足を運んでいただき盛大に開催してきました。

残念ながら、今回も前回に引き続き新型コロナウイルス感染拡大により、例年のように多くの観客を招いての開催はできませんでした。しかし、コロナ禍で沈んでしまっている、地域住民の方々の心にも元気を与えられるように、意義あるフェスタの開催を目指して、出演者の多くの子どもたちをはじめ、大会運営スタッフが協力し、一生懸命準備を進めました。前回に引き続き、地元ケーブルテレビジョンの協力を得、大会の様子を収録し、後日ケーブルテレビジョンで地域へ放送しました。会場は、感染防止対策のため、出演する子どもたちの2親等までの親族が観覧できるように人数制限を行い開催することとしました。

例年と同様、多くの子どもたちが出演し「神」になり「鬼」になり、汗を流して一生懸命に神楽を上演することが出来ました。過去の大会に出演した子どもたちも大きくなり、中には現在、石見神楽を受け継ぐために地元へ就職し、各団体の後継者の指導や中心的役割を担っている若者も存在します。今後も地域と石見神楽が大好きな子どもたちと一緒に地元地域で育み守ってきた郷土芸能石見神楽を後世へと継承していきたいと思います。今後もよろしくお願い申し上げます。









次回開催日程

■開 催 日：2022年6月（日時未定）
■開催場所：未定
■問い合わせ先
・団体名
どんちっちサポートIWAMI
・住所
〒697-0024 島根県浜田市黒川町3740-76
・電話番号：0855-23-1944

開催DATA

自治体名	島根県浜田市
自治体人口	51,546人 ※R3.12末現在の住民基本台帳人口
主催団体	どんちっち サポート IWAMI
開催回数	24回
開催日	2021年6月27日
開催場所	浜田市立原井小学校
観客数	157人

選考委員特別賞

第26回
ふるさとイベント大賞

全国「かまぼこ板の絵」展覧会



山から切り出した木材が「かまぼこ板」に加工され、蒲鉾（かまぼこ）として全国に流通したあと、食後廃棄される板をキャンバスとしてリサイクルし、絵を描きます。こうして、たくさんの人々の想いを携えたかまぼこ板がその故郷に戻ってくることは夢があって素敵なことです。

洋画家の折笠勝之先生から“絵は、いつでも、だれでも、なんにでも描ける”といただいた1枚のかまぼこ板の絵から始まったこの展覧会は、全都道府県及び海外から届くたくさんの夢や希望、想い、感動を紡ぎ、積み重ね、第26回を迎えました。プロ・アマ問わず、自由に絵を描く楽しみをかまぼこ板に描くことで、一人ひとりの個性の輝きを認め合い心の交流を図っています。

「かまぼこ板」を日本一小さなキャンバスとするこの展覧会は、平成7年から継続して実施し、回ごとに展示テーマを決め、展示会場の趣向を変えながら全作品を一堂に展示してきました。第8回展では、歴代最高となる15,787点（31,065枚、21,631人）の作品が集まりました。

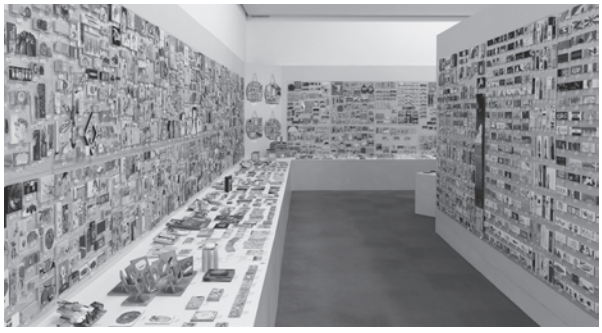
幼児から高齢者までの幅広い世代の人々が、自由な発想で想い想いに描くことを楽しんでいます。毎年応募する方々は、この小さなキャンバスを通じて交友関係を結び、全国各地でつながっています。

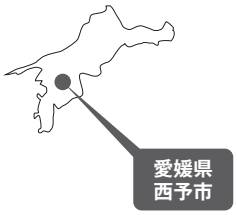
また、「日本一短い手紙」（福井県坂井市）と「かまぼこ板の絵」はコラボレーションを行っています。双方に届く作品は、合わせることを意図せずに書いた（描いた）見知らぬ作品同士ですが、何か大きな縁で結ばれていたかのように一つの作品となって、世界一大きな感動の物語を創り出しているのもこの展覧会の大きな魅力になっています。

第1回ふるさとイベント大賞において「優秀賞」をいただきました。25年の時を経て再び賞をいただきますこと、大変光栄です。長年応援していただいている全国の皆様のおかげであると感謝申し上げます。









次回開催日程

■開　催　日：令和4年7月23日（土）～令和4年12月4日（日）
■開催場所：西予市立美術館ギャラリーしろかわ
■問い合わせ先
・団体名
　西予市（西予市立美術館ギャラリーしろかわ）
・住所
　〒797-1717 愛媛県西予市城川町下相680番地
・電話番号：0894-82-1001
・URL：https://www.city.seiyo.ehime.jp/miryoku/galleryshirokawa/

開催DATA

自治体名	愛媛県西予市
自治体人口	36,633人　※R2.12末現在の住民基本台帳人口
主催団体	愛媛県西予市
開催回数	26回（平成7年度～令和3年度間、令和2年度のみ延期）
開催日	例年7月中旬～ 12月上旬
開催場所	西予市立美術館ギャラリーしろかわ
観客数	6,585人（令和元年度における展示期間中の人数）

次点

第26回
ふるさとイベント大賞

第37回 いわみざわ百餅祭り

いわみざわ百餅祭りは、商店街の皆さんが中心となって立ち上げ、岩見沢市の基幹産業である「米」を使ったダイナミックな餅つき祭りとして、昭和58年（1983年）に誕生したお祭りです。その年は岩見沢開基100年の節目であったこと、開催日が敬老の日であったこと、「100歳まで生きる」という願いを込めて100という数字にちなみ、祭りの名を「百餅祭り」と名付けています。

祭りのメインとなるのは、直径2.2メートル、重さ5.5トンの大臼と、重さ200キロの杵を使って行われる大臼餅つき。高さ約10メートルの櫓に取り付けた滑車で杵をつり上げ、約5メートルの高さから一気に落下させる「ヨイトマケ方式」で、1回で約60キロもの餅をついています。杵をつり上げる際は来場者も加えた約200人の力が必要となり、櫓の上で音頭を取る「百餅若衆」と来場者が一体となった大規模な餅つきを体験できます。また、つきたてのお餅は長寿の願いを込めて、来場者へお汁粉として振る舞われています。

お祭り期間中は和太鼓の競演やお囃子演奏、木遣り、市民神輿パレードなどで会場を盛り上げるほか、「百餅市」では岩見沢産の農産物を使用したメニューなどを販売し、「まちなか朝市」では地元の野菜や雑貨などの販売が行われる等、岩見沢市の芸能や特産品をお楽しみいただける内容となっております。

また、地元商店街により約100個のミニ臼が通りに勢ぞろいする「チビッ子百臼餅つき」や子供が楽しめる縁日広場が設けられるほか、さまざまな催しが開催されることもあり、老若男女が楽しみながら岩見沢市の伝統文化を体感することができます。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、令和2年度、令和3年度は中止となってしまいましたが、百餅祭りの歴史をたどる動画や関わる人々を紹介する動画をSNSで発信するなど、百餅祭りを楽しみにしてもらうためのPR活動を行っています。

岩見沢市の世界最大級の餅つきを体験してみませんか。









次回開催日程

■開 催 日：令和4年9月中旬予定
■開催場所：岩見沢市中心市街地（予定）
■問い合わせ先
・団体名
いわみざわ百餅祭り実行委員会
（事務局　一般社団法人岩見沢市観光協会）
・住所
北海道岩見沢市有明町南1番地1 岩見沢複合駅舎1階
・電話番号：0126-22-3470
・MAIL：info@i-kankou.jp
・URL：https://iwamizawa-kankou.jp

開催DATA

自治体名	北海道岩見沢市
自治体人口	78,112人 ※令和3年12月末現在の住民基本台帳人口
主催団体	いわみざわ百餅祭り実行委員会
開催回数	37回
開催日	令和元年9月14日～16日
開催場所	岩見沢市中心市街地
観客数	38,000人

次点

第26回
ふるさとイベント大賞

撮りフェス in 室蘭 2021



「撮りフェスin室蘭」は室蘭の街を24時間という制限時間の中で自由に散策しながら、街の魅力を写真に収めていく滞在型フォトコンテスト。幻想的な「工場夜景」と壮大な「自然景観」が奇跡的に共存し、被写体としての魅力あふれる室蘭を「日本一のフォトジェニックシティ」と銘打ち、室蘭市と地元有志が一丸となって、「フェス型の地域創生プロジェクト」を展開してきた。

2020年からはコロナ禍に対応するため、2カ月間のロングラン開催とするなど、特別ルールで実施。6回目の開催となる今回は、8月1日から9月30日までの2カ月間を予定していたが、途中、北海道に対して緊急事態宣言が発出されたため、その期間はイベントを休止。それに伴い開催期間を1カ月延長したため、3カ月のロングラン開催となった。





当イベントを魅力的なものとする取り組みの一つとして、普段立ち入ることのできない特別な撮影スポットの開放や、プロ写真家による指導を直接受けられる講座などの「プレミアムスポット」も、受付時の検温やアルコール消毒、マスク着用を徹底した上で、日付を分散して少人数で実施した。12コースを用意し、荒天等により中止になったコースもあったが、これまで参加者から公開要望の多かった旧絵鞆小学校円形校舎の初となる内部公開や、プロ写真家が高倍率の抽選をくぐり抜けた参加者を直接指導する講座など、コロナ禍にあっても「撮りフェスらしさ」を目指したイベントを展開した。





その結果、コロナ禍にも関わらず全国から約300人の写真愛好家が参加し、565枚もの作品が応募されるなど、盛況のうちに終了した。

作品は11月上旬に、日本を代表するアートディレクターやカメラマンによるオンライン審査が行われ、受賞作品が決定した。今回も例年とは違う条件での開催となったため、大賞・準大賞は設けなかったが、審査員特別賞、各入選作品が決まった。

次回開催日程

■開 催 日：未定
■開催場所：室蘭市一円
■問い合わせ先
・団体名
撮りフェス in 室蘭実行委員会
・住所
〒051-0022 北海道室蘭市海岸町1-5-1 室蘭観光協会内
・電話番号：0143-23-0102
・MAIL：info@tori-fes.com
・URL：https://tori-fes.com/

開催DATA

自治体名	北海道室蘭市
自治体人口	79,986人 ※令和3年12月末現在の住民基本台帳人口
主催団体	撮りフェス in 室蘭実行委員会
開催回数	6回
開催日	2021年8月1日～10月31日 （8月27日～9月30日は緊急事態宣言の発出により休止）
開催場所	室蘭市内一円
観客数	287人（参加者数）

次点

第26回
ふるさとイベント大賞

沼田町
夜高あんどん祭り

毎年数万人もの観光客が訪れる「沼田町夜高あんどん祭り」は、優雅で勇壮な田祭りとして沼田町の開拓の祖「沼田喜三郎翁」の出身地である富山県小矢部市より昭和52年に伝承したもので、北海道三大あんどん祭りに数えられ、道内唯一の喧嘩あんどんです。

あんどんの製作は、5月下旬から約100日かけて子どもから大人まで、すべて町民の手により行われ、竹細工で龍や御所車などを型どり、電球を仕込んで紙を貼り、ロウで絵を描き（ロウ引き）、秘伝の色で彩色されます。そして山車（だし）、傘鉾（かさぼこ）、連楽台（れんがく）により組み立てられたあんどんは、高さ7㍍、長さ12㍍、重さ5㌧もの大きさになり大迫力です。

祭り当日、日暮れとともに太鼓や笛の前触れで巨大なあんどん十数基に一斉に明かりが灯されると、町はたちまち不夜城と化します。極彩色のあんどんが裁許（さいきょ）（船頭役）による「ヨイヤサァ」という威勢の良いかけ声で町を練り歩き、クライマックスの大型あんどん同士の「ぶつけ合い」は、大地を揺るがす大迫力で見る者すべてを魅了し、祭りのボルテージは最高潮を迎えます。太鼓や笛の勇壮な祭り囃子に合わせて踊る「はね踊り」には見物客も飛び入り参加します。夏の夜の2日間、極彩色の一大絵巻が沼田の街に繰り広げられます。

また、夜だけではなく日中も「あんどん色塗り体験」や「あんどん練行体験」、大道芸人による「お祭り広場」など、楽しいイベントを豊富に用意しており、同時開催の「ふるさと特産品フェア」では北海道内各地から屋台が集結し、2日間にわたりさまざまな北海道のグルメを味わうことができます。

沼田町民にとって夜高あんどん祭りは、なくてはならないものであり、そのすべてを町民の手作りで行うことで地域の絆を深めています。令和2年、3年とコロナ禍のため中止を余儀なくされましたが、祭りにかける町民の情熱は失われていません。











次回開催日程

■開 催 日：令和4年8月19日（金）・20日（土）
■開催場所：沼田町市街地
■問い合わせ先
・団体名
沼田町観光協会
・住所
北海道雨竜郡沼田町北1条4丁目2番2号
・電話番号：0164-34-6373
・MAIL：info@numata-kanko.jp

開催DATA

自治体名	北海道沼田町
自治体人口	2,948人 ※令和3年12月末現在の住民基本台帳人口
主催団体	夜高あんどん実行委員会
開催回数	44回（令和2、3年はコロナ禍のため中止）
開催日	毎年8月中旬の金曜日・土曜日（令和4年から変更）
開催場所	沼田町市街地
観客数	約50,000人

次点

第26回
ふるさとイベント大賞

メルヘンおやべ源平火牛まつり

寿永2年（1183）、源氏方の武将 木曾義仲は富山県小矢部市と石川県津幡町の県境にある「倶利伽羅峠」で平家の大軍と対峙。兵数で劣る義仲は、牛の角に松明（たいまつ）をくくりつけて敵に突入させる奇襲作戦「火牛の計」によって平家の大軍を撃ち破り、歴史に名を残した。

小矢部市では、市民団体が、地域の歴史資源である「火牛の計」を活かしたイベントの開催をとおして、郷土の歴史再発見、地域振興を図るとともに、小矢部市の知名度向上を目的として、昭和61年から「火牛」をモチーフにしたイベントを実施している。

当初は「商工まつり」のイベントの一環として、武者行列を主とした「源平パレード」を実施。後に「源平火牛まつり」と改称して、平成11年に藁（わら）で作った重さ約750㎏の火牛2頭に松明をくくりつけて走らせ、タイムを競う「火牛の計レース」をスタート。石動市街地を火牛が疾走するようすは迫力満点で、市内外から多くの見学者が訪れ、レースを楽しむとともに、太鼓演奏や舞踊などの趣向をこらしたステージを鑑賞しつつ、屋台村で地元グルメを味わいながら盛り上がっている。

イベントをとおして、スタッフ同士のネットワーク拡大や市民の郷土愛育成など、地域に密着した事業として高く評価され、地元新聞社の「地域社会賞」や「地方自治法施行70周年記念総務大臣表彰」を受賞した。

毎年7月最終土曜日に開催しているが、コロナ禍により、令和2年度は中止。3年度も開催延期としていたが、イベントが途絶えることを危惧したスタッフが、コロナ感染防止対策を講じた上で、代替企画として、規模を縮小し、市街地で藁の牛を引く「源平たいまつパレード」を実施した。祭りを心待ちにしていた市民が、スタッフと共にイベント開催を喜んでいた。

今後も、官民連携して、スタッフ全員で知恵を絞りながら、より楽しく、より盛大なイベントに成長させていきたいと考えている。











次回開催日程

■開 催 日：令和4年7月30日
■開催場所：石動市街地
■問い合わせ先
・団体名
メルヘンおやべ源平火牛まつり実行委員会事務局
（小矢部市商工観光課）
・住所
〒932-8611 富山県小矢部市本町1-1
・電話番号：0766-67-1760（内線404）
・MAIL：kankou@city.oyabe.lg.jp
・URL：https://m.facebook.com/genpeikagyu/

開催DATA

自治体名	富山県小矢部市
自治体人口	28,977人 ※令和3年12月末現在の住民基本台帳人口
主催団体	メルヘンおやべ源平火牛まつり実行委員会
開催回数	8回（「メルヘンおやべ源平火牛まつり」に改称後8回目）
開催日	毎年7月最終土曜日
開催場所	石動市街地
観客数	約40,000人

次点

第26回
ふるさとイベント大賞

近江中世城跡 琵琶湖一周のろし駅伝

滋賀県（近江）には中世の城跡が1,300カ所もあると言われるが、多くは人知れず里山に存在し、地域の貴重な歴史文化遺産が忘れ去られている状況にある。また、近年は経済的価値を失った林業の衰退により、人々が山に入らず環境崩壊が危惧されている。

一方で、里山の自然や歴史に触れ、健康の維持増進や観光を目的としたニーズは増えつつあったことから、20年前に、里山の中世の城跡から昔利用されたであろう「のろし」を上げ、順次つないで琵琶湖を一周するイベントを企画した。そして、このイベントを契機に、地域の歴史文化を見直し、歴史遺産や里山の保全につなげようと今日まで活動を続けてきた。









のろし上げの主な実施方法は、煙突を立てた「のろし台」に、杉の青葉を燃やして、煙を上げ、「のろし」が見えたら次の城跡がのろしを上げ、順次つなぐ形で琵琶湖を一周するものである。全体の時刻表を作成し、指定時刻に「のろし」を上げている。併せて、各城跡では独自に里山ハイキングや城跡見学会等も行っており、イベント当日は子どもから大人まで世代を問わず多くの人が戦国時代に思いをはせ、地域の魅力を存分に感じられる1日となっている。

第1回目は県内17カ所の参加であったが、20回目となる昨年は38カ所もの城跡から「のろし」が上がった。近年では山城ブームも重なり、より一層のにぎわいを見せている。

各城跡の民間保全団体は、イベントを未来へつないでいくために、「のろし駅伝」の企画運営や情報交換を行う中で、各地で進むスタッフの高齢化や過疎化等の課題に対して、城跡を地域資源として活かし、地域の活性化を図るための取り組みについて検討を重ねている。

私たちは、このイベントを現代の主流な情報ツール（SNS）も活用しながら、戦国時代から伝わる歴史的な情報ツール「のろし」で県内の城跡が緩やかな絆でつながり合う「古くて新しいイベント」と自負している。



次回開催日程

■開 催 日：2022年11月23日（水・祝）
■開催場所：滋賀県下（一部岐阜県）の約40カ所の中世の城跡
■問い合わせ先
・団体名
近江中世城跡保存団体連絡会
・住所
滋賀県米原市番場1982番地
・電話番号：090-5047-0153
・MAIL：mine-izu@mx.bw.dream.jp
・URL：http://biog.livedoor.jp/kamahajyo

開催DATA

自治体名	滋賀県米原市
自治体人口	38,136人 ※2021年12月末現在の住民基本台帳人口
主催団体	近江中世城跡保存団体連絡会
開催回数	20回
開催日	毎年11月23日（祝日）
開催場所	滋賀県内（一部岐阜県）の約40カ所の中世の城跡
観客数	約500人

次点

第26回
ふるさとイベント大賞

瀬戸内国際芸術祭2019



瀬戸内国際芸術祭は、2010年にスタートした瀬戸内海の美しい島々を舞台とした3年に一度開催される現代アートの祭典。第1回から、「海の復権」と「島の元気」をテーマに掲げており、アーティストが島に入り込み、島民とともに活動することで、島の自然や伝統・文化を感じ取り、その島でしか生み出すことのできない素晴らしいアート作品を創作してきた。それらの作品を、大勢の来場者が、島民やボランティアサポーターである「こえび隊」とふれあいながら巡り、島への理解を深め、その素晴らしさを感じてもらうという独創性が、国内外から多くのファンを獲得してきた。

4回目となる「瀬戸内国際芸術祭2019」では、世界32の国と地域から230組のアーティストが参加し、瀬戸内の資源に焦点を当てた作品や、体験型の作品を展開したほか、アジア各地域と瀬戸内の島々との連携プロジェクト、島の「食」を味わう食プロジェクト、パフォーミングアーツの多様な展開に重点的に取り組んだ。また、高松港周辺の北浜や屋島（四国民家博物館）、小豆島の四海地区を新たに会場エリアに加え、作品展開を行ったほか、オフィシャルツアー、SETOUCHI企業フォーラム、SETOUCHI ART BOOK FAIRなどの新たな取り組みや、会場である島の住民のネットワークを構築する「島間交流事業」、学校などと連携した「学校連携事業」にも取り組んだ。総来場者数は3会期で約118万人と過去最多となり、特に外国人の来場者の全体に占める割合が23%と大幅に増えた。海外での評価は非常に高く、米国の「ニューヨーク・タイムズ」や英国の「ナショナル・ジオグラフィック・トラベラー（UK版）」で、2019年に訪れるべき旅行先として、日本で唯一、「瀬戸内」が取り上げられ、瀬戸内国際芸術祭がその目的の一つとして紹介されるなど、大きな注目を集めた。本年4月より5回目となる「瀬戸内国際芸術祭2022」の開催を予定している。





香川県





次回開催日程

■開 催 日：春　2022年4月14日～5月18日、
夏　8月5日～9月4日、秋　9月29日～11月6日

■開催場所：直島、豊島、女木島、男木島、小豆島、大島、犬島〈岡山県〉、沙弥島（春）、本島（秋）、高見島（秋）、粟島（秋）、伊吹島（秋）、高松港周辺、宇野港周辺〈岡山県〉

■問い合わせ先

・団体名：瀬戸内国際芸術祭実行委員会事務局
・住所：〒760-0019 香川県高松市サンポート1番1号
・電話番号：087-813-0853
・MAIL：info@setouchi-artfest.jp
・URL：https://setouchi-artfest.jp/

開催DATA

自治体名	香川県
自治体人口	940,091人　※2022年1月1日現在
主催団体	瀬戸内国際芸術祭実行委員会
開催回数	4回（3年に一度開催）
開催日	春　2019年4月26日～5月26日、夏　7月19日～8月25日、秋　9月28日～11月4日
開催場所	直島、豊島、女木島、男木島、小豆島、大島、犬島〈岡山県〉、沙弥島（春）、本島（秋）、高見島（秋）、粟島（秋）、伊吹島（秋）、高松港周辺、宇野港周辺〈岡山県〉
観客数	1,178,484人

次点

第26回
ふるさとイベント大賞

書道パフォーマンス甲子園



「書道パフォーマンス甲子園（全国高等学校書道パフォーマンス選手権大会）」は、全国の高校書道部が書道パフォーマンスで競い合う大会で、日本一の紙のまちである愛媛県四国中央市で毎年夏に開催されています。大会では、選手たちが6分の演技時間内で、音楽に合わせて趣向を凝らしたパフォーマンスをしながら、縦4㍍×横6㍍の巨大な紙に作品を書き上げます。

そもそものはじまりは、愛媛県立三島高校書道部が書道を使ってまちを元気にしたいと考え、地域のイベントで音楽に合わせてその歌詞などを揮毫（きごう）した書のデモンストレーション。この高校生たちの活動をきっかけに、平成20年に夏まつりイベントの一部として第1回大会が開催されました。商店街広場の一角でわずか３校の参加から始まった大会でしたが、令和3年の第14回大会では、32都府県から102校の参加があるなど､大きな大会へと成長しました。またうれしいことに、平成22年度には第15回ふるさとイベント大賞優秀賞を受賞するなど、大会の取り組みも評価されています。

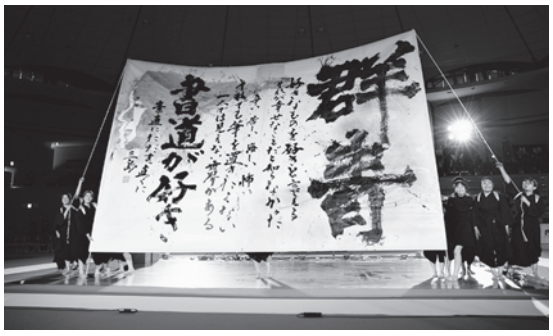
書道パフォーマンスは、ある種スポーツのような団体競技です｡紙の上に表現する静的な書道だけでなく、紙の上で表現する動的なパフォーマンスがあわさって初めて書道パフォーマンスとして完成します。沢山の選手たちが、青春の全てを注ぎ、自らの力を磨くだけでなく仲間と何度もぶつかりながら一から作品を作り上げ、思いを込めた6分間の演技は、多くの人を感動させ、涙なくして観ることはできません。

そんな大会の魅力を少しでも多くの方に知ってもらうために、公式PR動画を制作しました。YouTubeで絶賛公開中ですので、ぜひ「書道パフォーマンス甲子園」で検索してみてください。

今年の7月24日には第15回大会が予定されています。コロナ禍はいまだ収束する様子を見せず、これまでどおりの大会開催は難しいかもしれません。しかし、大会が書道パフォーマンスを行う選手にとって夢の舞台であり続けられるように、さまざまなことに挑戦を続けながら盛り上げていきたいと思います。









次回開催日程

■開 催 日：令和4年7月24日（日）
■開催場所：伊予三島運動公園体育館
■問い合わせ先
・団体名
書道パフォーマンス甲子園実行委員会
・住所
愛媛県四国中央市三島宮4-6-55四国中央市教育委員会
教育管理部文化・スポーツ振興課内
・電話番号：0896-28-6037
・MAIL：info@shodo-performance.jp
・URL：https://www.city.shikokuchuo.ehime.jp/site/shodo-performance/

開催DATA

自治体名	愛媛県四国中央市
自治体人口	84,404人 ※令和3年12月末現在の住民基本台帳人口
主催団体	書道パフォーマンス甲子園実行委員会
開催回数	14回
開催日	令和3年7月25日（日）
開催場所	伊予三島運動公園体育館
観客数	出場校関係者のみ（感染症対策のため無観客とした）

次点

第26回
ふるさとイベント大賞

国際渓流滝登り in ななやま

七山は農林業を中心とした山村で、主産業である水稲やミカン、木材価格の低迷により過疎化や高齢化が進行しその対策が必要とされていた。

七山には全国に誇れる清流と観音渓谷があり、この観光資源を活用して七山活性化をとの発想で、子どものころの川遊びをイベント化したものが「国際渓流滝登り」であり、①自然保護の意識の高揚、②国際交流の場の創出、③郷土愛の醸成と結束をコンセプトとして実施してきた。

競技は会場から観音の滝までの往復5㌔のコースで、その間1.5㌔が滝川川を登るもので、自然を楽しみながら急流や淵を泳いだりし助け合いながら登り、帰りは市道を歩いて帰るもので、基準タイム150分を設け自然と国内・国際交流を楽しむ大会である。



大会規模も年々大きくなったが、安全確保のため近年1,300名を限度として開催している。「国際」と冠をつけ、毎回20カ国以上約 150人の参加を得て、この日は小さな村も応援者も含め多くの外国人が訪れる国際都市となる。

この大会は川と渓谷を登る競技であり、安全確保や運営に350名ものスタッフを必要とするが、地元中学生をはじめ、地域を超えた企業、団体等の協力により開催できる。

コース途中には温かいうどんや冷えたトマト、「七山天然水」のサービスもあり、七山ならではのイベントに充実してきた。

夏の風物詩として定着し知名度も上がり、特に福岡都市圏から参加も多く、滝登りのみならず自然や温泉、野菜を求め、周年七山を訪れる七山ファンの定着となり、地域活性化に寄与している。

また、地元の中学生等が地域ぐるみで支え、大会にスタッフとして参加することにより、故郷愛も醸成されている。









次回開催日程

■開 催 日：令和4年7月31日
（コロナ感染状況等により未確定）

■開催場所：佐賀県唐津市七山滝川鳴神の丘運動公園及び滝川川

■問い合わせ先

・団体名
滝登り実行委員会

・住所
佐賀県唐津市七山藤川2270-1 キコリななやま2F

・電話番号：090-4983-5009（事務局長 岩村俊武）

・MAIL：tk_iwamura@yahoo.co.jp

開催DATA

自治体名	佐賀県唐津市
自治体人口	118,400人 ※令和3年12月末現在の住民基本台帳人口
主催団体	滝登り実行委員会
開催回数	30回
開催日	令和元年7月28日（令和2年、3年はコロナにより中止）
開催場所	佐賀県唐津市七山滝川鳴神の丘運動公園及び滝川川
観客数	4,000人

次点

第26回
ふるさとイベント大賞

きくち夏まつり 菊池白龍

菊池白龍は、きくち夏まつりの活性化のため、地域の青年団等の若手有志が菊池市祭り再興を考える会を発足させ、菊池温泉発祥の由来である白龍伝説を元に、平成6年に誕生したものである。

白龍は、長さ50㍍、重さ400㌔にもなる巨大なもので、夏まつりでは親龍2体と若龍1体、子龍1体の計4体で商店街から市民広場までを練り歩き、市民広場前の県道を封鎖し、200㍍の県道区間を2体の親龍が勢いをつけて蛇行演舞する。

平成28年1月には、菊池市が東京浅草のまるごとにっぽんに出展したことから、浅草六区ブロードウェイ、奥山おまいりまち通りで白龍の演舞（練り歩き）を行い、首都圏に菊池市をPRした。さらに、同年8月には横浜の日産スタジアムで行われたももいろクローバーZのライブにおいて、ゲスト演者のメインとして2日間にわたって、約12万人の前で演舞を行ったほか、平成30年1月には東京ドームで行われたふるさと祭り東京において演舞をするなど、全国の舞台に招待されるまでに成長してきた。首都圏だけでなく、隣県の福岡市等での演舞を通じて、菊池市の知名度向上・観光PR活動を行っている。

一方、地元では、夏まつりをはじめ、秋まつりや地域のまつり、小中学校の運動会、近隣市町での物産イベントなどへ積極的に出演しているほか、市も保育園や小学校からの要請があれば、白龍に関する授業を行うなど地域に密着した事業展開を行い、子白龍・若龍を創作し、まちづくりを担う次世代づくりにつなげている。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、令和2年より祭りは休止しているが、市内向けに祭りの機運醸成や対外的なPR活動等を継続的に行っており、祭りが実施可能な状況になったときに向けて鋭意活動中である。









次回開催日程

■開 催 日：令和4年8月6日（土） ※新型コロナウイルスの状況により開催は未定です。
■開催場所：菊池市ふるさと創生市民広場および菊池市中心市街地
■問い合わせ先
・団体名：菊池市経済部商工観光課
・住所：熊本県菊池市隈府888番地
・電話番号：0968-25-7223
・MAIL：shoukan@city.kikuchi.lg.jp
・URL：https://www.city.kikuchi.lg.jp/kankou/

開催DATA

自治体名	熊本県菊池市
自治体人口	47,409人 ※令和3年12月末現在の住民基本台帳人口
主催団体	菊池市祭実行委員会
開催回数	白龍登場から25回
開催日	8月7日に近い土曜日
開催場所	菊池市ふるさと創生市民広場および菊池市中心市街地
観客数	例年約4万人

次点

第26回
ふるさとイベント大賞

2021 吹上浜砂の祭典

日本三大砂丘に数えられる吹上浜の砂を生かした地域おこしイベントとして昭和62年に始まった吹上浜砂の祭典は、これまで30年を超える長きにわたり、砂文化に基づく地域発信はもとより､砂像のまち「南さつま市」を全国にアピールするとともに、地域づくりを推進し、地域の活性化に大きな貢献を果たしました。また、市民が参画し、市民が主役となる交流の場づくりや、地域振興につながる祭典に取り組むとともに、将来に向けた持続可能な砂の祭典を目指しながら、新型コロナウイルス感染症に対応した新たな生活様式にのっとり、来場者・市民および関係者が安心して楽しめるイベントとして実施しました。初の“まちなか”開催は、昔ながらの商店街や風情のある街並みで日本遺産にも登録された加世田麓（かせだふもと）地区等の地域資源を活用し、活性化を図りました。

祭典では、イベントのメインである大迫力の砂像（総数23基）と春の花々の調和した展示をはじめ、市役所エリアではマルシェや特産品販売、本町エリアでは砂像制作体験などの参加型イベントや飲食、麓エリアでは加世田麓散策ツアーや武家屋敷での作品展示等を行いました。また、各エリア、市内全体への周遊や経済効果を促す目的でまちなかスタンプラリー、謎解き、グルメスタンプラリーなども実施し、夜は会場、砂像をライトアップすることによる幻想的な砂像展示を実施するとともに、花火を打ち上げ、多くの来場者の思い出となるようなイベント作りを行いました。

まちなかという広いエリアを会場として設定することによって分散型会場内での周遊を促し、人の滞留や三密を抑制することで、新型コロナの感染リスクを低下できる新たな形式が可能となりました。また県と綿密な協議を行いながら、各種業種別ガイドラインに従った取り組みや砂の祭典独自のコロナ対策ガイドラインを作成し、その内容にのっとった形での運営を行いました。











次回開催日程

■開 催 日：令和4年5月3日（火･祝）～ 5月5日（木･祝）
■開催場所：南さつま市役所を中心とした本町通り周辺および加世田麓地区周辺の「まちなか」
■問い合わせ先
・団体名：吹上浜砂の祭典実行委員会事務局
・住所：鹿児島県南さつま市加世田川畑2648
（南さつま市観光交流課内）
・電話番号：0993-76-1609
・MAIL：sand@sand-minamisatsuma.jp
・URL：https://www.sand-minamisatsuma.jp

開催DATA

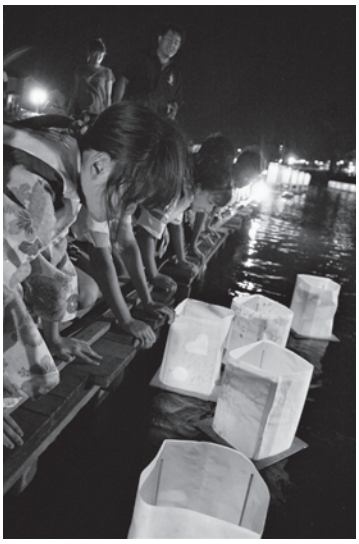
自治体名	鹿児島県南さつま市
自治体人口	32,903人 ※令和3年12月末現在の住民基本台帳人口
主催団体	吹上浜砂の祭典実行委員会／南さつま市／南日本放送／南日本新聞社／日本砂像連盟
開催回数	34回
開催日	令和3年5月1日（土）～ 5月3日（月・祝）
開催場所	南さつま市役所を中心とした本町通り周辺および加世田麓地区周辺の「まちなか」
観客数	19,000人（3日間合計）

次点

第26回
ふるさとイベント大賞

古利根川流灯まつり







昭和初期頃に、大落古利根川（おおおとしふるとねがわ）を利用して、川を境に隣り合う杉戸町と宮代町の商店会が協力し、「流燈會」として、それぞれの店が工夫を凝らした灯ろうを川面に浮かべ、店のPRを兼ねたイベントとして始まった。途中、一時中断していたものの、町民による「町おこし」の機運が高まり、復活が試みられ、平成2年から今ある形の「古利根川流灯まつり」として毎年8月第1週の土曜日・日曜日に開催されている。

開催日を含めた前後1週間程度の期間、大落古利根川の川面に日本一の大きさを誇る大型灯ろう（約250基）が浮かび、河川欄干には町内の小学生が作成した小型灯ろうが設置される。

約1㌔㎡にわたり大小の灯ろうの光が連なる幻想的な光景は、夏の風物詩として「地上に降りた天の川」と言われている。

一畳ほどある大型灯ろうはひとつひとつ、組み立て細工の要領で釘を使わずにすべて手作りされ、絵付けも町内の絵画サークルなどを中心に手作業で行われる。

屋外ステージは、地域のみなさまによる踊りや演奏などの催しでにぎわい、祭りに華を添える。

昭和初期頃の「流燈會」の様子を写真で振り返る「すぎと昔の写真展」では、ボランティアガイドの説明と共に、今と昔の祭りの姿を重ねて、継承される伝統文化としての祭りの大切さを学ぶことができる。

夏の夜風を感じながら川面の光の帯を眺めることができる人力車は、商工会青年部によって運営され、一味違った雰囲気が楽しめる。

町内外からの来場者は、川辺を周遊しながら個性豊かな灯ろうを鑑賞したり、河畔にたたずみ静かに川の流れを感じたりと、思い思いに風流な夏の夜を楽しむ。



次回開催日程

■開 催 日：令和4年8月6日（土）・7日（日）（予定）
■開催場所：古利根川河畔（古川橋から清地橋までの区間）
■問い合わせ先
・団体名
杉戸町観光協会
・住所
埼玉県北葛飾郡杉戸町杉戸1-10-21（杉戸町商工会）
・電話番号：0480-32-3719
・MAIL：sugito@syokoukai.jp

開催DATA

自治体名	埼玉県杉戸町
自治体人口	44,219人 ※令和3年12月末現在の住民基本台帳人口
主催団体	杉戸町観光協会
開催回数	26回　※平成2年以降
開催日	令和元年8月3日（土）・4日（日）
開催場所	古利根川河畔（古川橋から清地橋までの区間）
観客数	約30,000人

次点

第26回
ふるさとイベント大賞

山古志 棚田・棚池 あかりのページェント



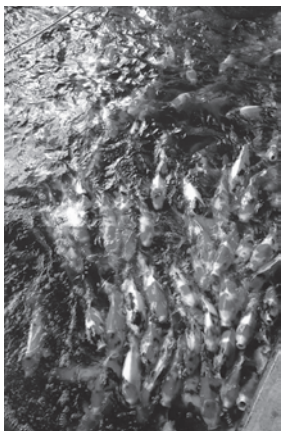
平成16年中越地震で全村避難を余儀なくされた山古志は、過疎化が進んでいました。その山古志は、日本の原風景、棚田・棚池、牛の角突き、錦鯉など観光素材が豊富にあります。平成29年3月に「雪の恵みを活かした稲作・養鯉システム」で日本農業遺産の認定を受けた「山古志の棚田・棚池」、その遺産を活用した新規イベントを令和2年度観光庁「夜間・早朝の活用による新たな時間市場の創出事業」に採択いただき実証事業として開催いたしました。しかし、新型コロナウイルス感染拡大防止のため新潟県在住者限定での開催となりました。

イベント内容は、長岡市山古志支所裏とにこにこ広場前の稲刈り後の棚田と錦鯉の池上げ後の棚池に山水を張り水鏡の水面に2,500個の電飾を配置し、水面に映し出される幻想的なあかりをライトウォークでお楽しみいただきました。

ライトアップ期間は、10日間で週末4日間、山古志支所裏で山花火の打ち上げも行いました。目の前で打ち上げられ開く花火が棚田・棚池の水面に映る様子や響き渡る爆音など山古志ならではの山花火をご来場のお客様にお楽しみいただきました。

棚池で養殖された錦鯉が、越冬ハウスの中で泳ぐ様子もご覧いただきました。







次回開催日程

■開 催 日：令和4年10月下旬～ 11月上旬（予定）
■開催場所：新潟県長岡市山古志地区、長岡市摂田屋地区
■問い合わせ先
・団体名
一般社団法人長岡観光コンベンション協会
・住所
新潟県長岡市大手通2-2-6　ながおか市民センター 2階
・電話番号：0258-32-1187
・MAIL：info@nagaoka-navi.or.jp
・URL：https://www.nagaoka-navi.or.jp

開催DATA

自治体名	新潟県長岡市
自治体人口	266,344人 ※令和3年12月末現在の住民基本台帳人口
主催団体	一般社団法人長岡観光コンベンション協会
開催回数	1回
開催日	令和2年10月30日（金）～ 11月8日（日）
開催場所	新潟県長岡市山古志地区
観客数	約5,800人

次点

第26回 ふるさとイベント大賞

海で水球



柏崎市の水球の歴史は60年以上と古く、2010年には地元企業の支援を受け、「ブルボンウォーターポロクラブ柏崎(以下「ブルボンKZ」)」が発足した。2012年と2018年にはブルボンKZの社会人男子が日本一を獲得し、2016年のリオデジャネイロオリンピック、2021年の東京オリンピックに多くの日本代表選手等を輩出するなど水球が盛んな地域である。また、2017年からは柏崎市教育委員会に「水球のまち推進室」を設置し、水球を地域の財産として活用し、地域の活性化に取り組んでいる。

その取り組みの一つとして、日本初となる「海で水球」を笠島漁港と柏崎港で開催している。イベントには、ブルボンKZの社会人チームから出演してもらい、日本を代表する選手たちによる迫力あるプレーを披露してもらった。普段は見ることのできない海での水球を、多くの来場者が楽しんだ。また、初めて水球を観る方でも楽しめるよう、相撲の初っ切りのようなルール説明や市長による始球式 、普段の試合ではありえないようなコミカルな演出を取り入れた試合展開など、エンターテインメント性を高めた内容とした。





このほかにも、漁港関係者や地域の方々の協力により、笠島漁港・柏崎港それぞれの港の特色を生かした内容でイベントを実施。笠島漁港では、地域住民から全面的に協力いただき、地域特産のエゴ（海藻の練物）とサザエの無料振る舞いや、焼きそば等の販売により来場者を楽しませた。柏崎港では、イベントによる経済効果を高めることを目的に、隣接する柏崎港観光交流センター「夕海（ゆうみ）」で利用できる当日割引券を来場者に配布。来場者から「夕海」で買い物をしてもらうことで、相乗効果（来場者の満足度、夕海での経済効果、水球観戦者数のアップ）を図った。

今後も、より多くの方に来場いただくとともに、2つの漁港の異なる特性と強みを生かすことで、他の地域ではできない「水球」×「漁港」のイベントへと成長させていく。





次回開催日程

■開 催 日：2022年7月中旬～8月上旬
■開催場所：柏崎市笠島漁港、柏崎市柏崎港
■問い合わせ先
・団体名
柏崎水球事業実行委員会
（事務局・柏崎市教育委員会水球のまち推進室）
・住所
新潟県柏崎市日石町2-1
・電話番号：0257-41-4020
・MAIL：waterpolo@city.kashiwazaki.lg.jp

開催DATA

自治体名	新潟県柏崎市
自治体人口	80,294人 ※2021年12月末現在の住民基本台帳人口
主催団体	柏崎水球事業実行委員会
開催回数	3回
開催日	2020年7月11日、8月1日
開催場所	柏崎市笠島漁港、柏崎市柏崎港
観客数	延べ550人

次点

第26回
ふるさとイベント大賞

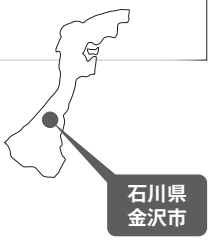
金沢市デジタル工芸展

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、工芸関係の催事や企画展、個展等が中止、延期を余儀なくされ、工芸品を発表・販売する機会が減少していたため、令和2年5月に金沢市工芸協会が金沢を拠点に活動する作家、職人に参加を呼びかけ、インターネット上で金沢の工芸を紹介するサイト「金沢市デジタル工芸展」を開設した。

デジタル工芸展には、開催趣旨に賛同した人間国宝や文化勲章受章者など金沢を代表する重鎮作家から近年活躍が目覚ましい新進気鋭の若手や藩政期以来の貴重な伝統技術を受け継ぐ職人などの工芸のつくり手424人と、金沢の工芸品を取り扱う専門店やギャラリーなどのつなぎ手41者が参加した。つくり手からは、作品づくりにかける思い、制作過程、技法や工房の様子など、つなぎ手からは、自店舗の沿革、特徴、取り扱い作品に関する画像などが出品され、静止画は約1,500点、動画は100点を上回った。

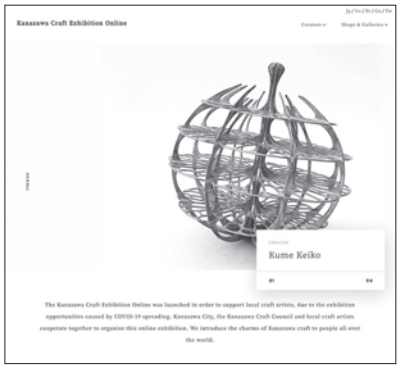
また、海外への往来が制限されていたことから、英語、仏語、中国語（簡体字・繁体字）で出品者の基本的な情報を紹介し、工芸への関心が集まっている欧米や中国など海外に向けての発信を強化した。さらに、茶会の開催もままならない状況を受け、茶の湯の担い手が、金沢のつくり手による茶道具を使用した茶会を開催し、その様子を動画で配信することで、伝統文化を通して金沢の工芸品やつくり手の奥深い魅力を伝えた。





こうした取り組みを進めた結果、デジタル工芸展は金沢の工芸の現在を網羅的に鑑賞できるサイトとして、閲覧数は令和3年3月末で約40万ページビューに達した。今後、デジタル工芸展を継続し、つくり手、つなぎ手の切磋琢磨を促すとともに、多言語表記の追加や、リアルな工芸展「金沢市工芸展」と連動したオンライン企画展の開催により内容を充実し、新たな金沢の工芸ファンの獲得や国内外への販路開拓に寄与していく。







次回開催日程

■開　催　日：継続して開催中
■開催場所：http://kanazawa-dkogei.com/
■問い合わせ先
・団体名
　金沢市工芸協会
・住所
　金沢市広坂1-1-1 金沢市クラフト政策推進課
・電話番号：076-220-2373
・MAIL：craft@city.kanazawa.lg.jp
・URL：https://www.kanazawashi-craft.com/

開催DATA

自治体名	石川県金沢市
自治体人口	461,030人　※令和4年1月1日現在
主催団体	金沢市工芸協会
開催回数	1回
開催日	令和2年5月29日～
開催場所	http://kanazawa-dkogei.com/
観客数等	383,978ページビュー　※令和3年3月31日現在

次点

第26回
ふるさとイベント大賞

赤目渓谷『幽玄の竹灯』



名張市の主要観光地である赤目四十八滝は、冬場は閑散期となり観光客がほぼ見込めない状態であり、これまでに秋には紅葉ライトアップ、クリスマスにはキャンドルナイト等のイベントを開催してきましたが、短期間のため旅行会社のツアー商品に組んでもらえず、大きな誘客にはつながりませんでした。

このような状況が続く中、令和元年の冬に市内の竹灯(たけあかり)作家に協力いただき、試行的に渓谷のライトアップに竹灯を設置し好評を得たことがこのイベントを開催するきっかけになりました。

このイベントを開催するに当たり、単に竹灯を設置するライトアップイベントのみではなく、以前から問題であった市内の放置竹林の景観悪化の問題も一緒にできないかと考え、“竹”をテーマに「環境」「社会」「経済」の持続可能な協働循環型社会の構築による名張の元気と新たな文化の創造を目指すプロジェクトとして取り組みを始めました。





このプロジェクトでは、市内の子供たちなどを対象にしたワークショップを開催し、市内の放置竹林の整備により間伐した竹を再利用して竹灯を作りました。完成した竹灯は赤目四十八滝のライトアップイベントに使用して観光誘客を図り、このイベントで得た収益は再び環境保全活動や地域振興に還元することでこのプロジェクトを持続可能なものとしていきます。

令和2年度に開催しましたライトアップイベント『幽玄の竹灯』では、赤目四十八滝の渓谷に約1,000体の竹灯を設置し、幻想的な雰囲気を演出しました。また、開催期間中には地元名産やグルメなどのキッチンカーなどさまざまなコラボイベントを開催し、来場者の方をおもてなししました。ライトアップイベントの入り口となる赤目自然歴史博物館では、竹にまつわる特別展示や竹灯の即売会のほか、竹灯や苔(こけ)テラリウム、ハーバリウムなどの手作り体験プログラムも開催したところ、イベント期間中に約15,000人の方に来場いただきました。





次回開催日程

■開 催 日：令和4年10月22日(土)～令和5年1月31日(火)
（令和3年度も10月～ 1月に開催済み）
■開催場所：赤目四十八滝
■問い合わせ先
・団体名：名張市産業部観光交流室
（名張市エコツーリズム推進協議会事務局）
・住所：三重県名張市鴻之台1番町1番地
・電話番号：0595-63-7648
・MAIL：kankou@city.nabari.mie.jp
・URL：http://www.city.nabari.lg.jp/s038/ecotourism/20201012160557.html

開催DATA

自治体名	三重県名張市
自治体人口	76,902人 ※令和3年12月末現在の住民基本台帳人口
主催団体	名張市エコツーリズム推進協議会
開催回数	1回
開催日	令和2年10月24日（土）～令和3年1月31日（日）
開催場所	赤目四十八滝
観客数	14,963人

次点

第26回 ふるさとイベント大賞

FactorISM ～アトツギたちの文化祭～

「FactorISM アトツギたちの文化祭」は、中小企業数が国内トップクラスの大阪府八尾市をはじめ、堺市、門真市、東大阪市の町工場などが、ものづくりの現場を一般公開し、世界に誇る日本のものづくりの現場を体験、体感してもらうオープンファクトリー（工場見学）イベント。

「こうばはまちのエンターテインメント」を合言葉に、今までに足を踏み入れることのなかったものづくりの現場で、職人や作り手の技術に触れ、感動や驚き、そしてあこがれを感じてもらう。参加された方が、工場におもしろさを、そしてものづくりを身近に感じてもらえるお祭りを、ものづくりに携わる地域企業の方、そして地域の方々と共に創ってきた。

大阪・関西万博のプログラムTEAM EXPOにも採択され、2025年、またその先に向けて大阪のものづくり文化を盛り上げていく。

各企業においては、施設やものづくり現場の見学と併せて、ものづくりの楽しさを実感できるワークショップを開催。子供から大人までが楽しめるエンターテインメントとしてイベントを実施した。

サテライト会場みせるばやおにおいては、他地域とのコラボレーションとして、福井県の工房見学イベント「RENEW（リニュー）」とタイアップし、商品販売ブースを出展。

サテライト会場龍華西公園においては、工場見学の休憩の場として、またはFactorISMを知っていただくきっかけとして、地域の活性化も目的とした1dayマルシェを開催した。

サテライト会場堺伝統産業会館においては、堺市内企業が一堂に会し、伝統工芸や町工場の技術を体験できるワークショップを実施した。

参加企業の従業員は普段「見られる」経験が乏しいため、本イベントに際して、工場内の整理整頓や参加者への対応準備等が図られ、従業員の意識改革につながったという声が多くあがった。加えて、参加者が現場の技術に触れ、「すごい」「こんなことができるのか」といった声を発したことで、それを聞いた従業員のモチベーション向上にもつながった。











次回開催日程

■開 催 日：令和4年10月27日（木）～ 30日（日）
■開催場所：八尾市、堺市、門真市、東大阪市の他、府内各市町村の町工場、サテライト会場
■問い合わせ先
・団体名
FactorISM実行委員会「まちのこうほうぶ」
・住所
大阪府八尾市光町2-60（みせるばやお内）
・電話番号：072-920-7128（株式会社みせるばやお）
・MAIL：machi@miseruba-yao.jp
・URL：https://factorism.jp

開催DATA

自治体名	大阪府八尾市
自治体人口	263,693人 ※令和3年12月末現在の住民基本台帳人口
主催団体	FactorISM実行委員会「まちのこうほうぶ」
開催回数	2回
開催日	令和3年10月21日（木）～ 24日（日）
開催場所	八尾市、堺市、門真市、東大阪市の町工場（サテライト会場＝みせるばやお、ＪＲ久宝寺駅前・龍華西公園、堺伝統産業会館）
観客数	20,000人（うちオンライン参加者13,300人）

次点

第26回
ふるさとイベント大賞

見ぬ友と心結ぶ のろしリレー2020



平成26年からはじまった「見ぬ友と心結ぶのろしリレー」は、広島市安芸区の「絵下山（えげさん）」をスタート地点として、全国各地を煙でつなぐイベントである。とはいえ、目視でつながる箇所は少ない。そのため、参加者にはフェイスブックに地域のPRやメッセージなども添えながら「想い」を込めて上げた煙の動画や写真を投稿してもらう。その投稿を見ながら、遠く離れた「見ぬ友」が、同時に同じ行動をすることで一体感を感じつつ、互いの地域への関心を喚起するものである。また、アマチュア無線の記念局を取得し、例年、無線でもイベント周知を行い、世界の人々ともつながりを創出している。

また、平成30年7月豪雨の影響で、スタート地点から煙を上げられなかった令和元年開催時に、全国からののろしと広島へのエールが寄せられ、大いに励まされた経験から、私たちも全国の被災地の応援と支援者への感謝も込めてのろしを上げることにしている。



令和2年は、新型コロナウイルス感染症拡大という情勢もあったが、オンラインイベントである特性も生かし、自宅からでも簡単に参加できる「ミニのろしセット」のプレゼントなどでステイホームからの個人参加も促進して、先の見えない不安を互いに励まし合った。さらにイベント当日は、密集を避けるため、スタート会場でのパフォーマンスなどを録画に切り換えつつ、ライブ動画配信を導入したことにより、発煙の様子を生中継で届けることができ、各地の参加者との一体感の高まりを感じられた。全国的に雨模様であったが、14道府県および海外2カ国を含む91カ所（95団体）の参加があった。なお、本イベントは東京オリンピック企画の1つである「東京2020公認プログラム」の認定を受けて開催したものである。

今後は、さらに多くの参加が得られるよう工夫しながら、全国各地の楽しい情報が集まり、拡散できるイベントとなるように努力したい。ぜひ皆さんにもこの「見ぬ友と心結ぶのろしリレー」にご参加いただきたい。







次回開催日程

■開 催 日：令和4年7月23日（土）
■開催場所：広島市安芸区矢野町
■問い合わせ先
・団体名
見ぬ友と心結ぶのろしリレー実行委員会事務局
・住所
広島市安芸区船越南三丁目4番36号
広島市安芸区役所地域起こし推進課内
・電話番号：082-821-4904
・MAIL：ak-chiiki@city.hiroshima.lg.jp
・URL：https://ja-jp.facebook.com/noroshi.smoke/

開催DATA

自治体名	広島県広島市安芸区
自治体人口	77,922人 ※令和3年12月末現在の住民基本台帳人口
主催団体	見ぬ友と心結ぶのろしリレー実行委員会、東京海上日動火災保険（株）
開催回数	7回
開催日	令和2年7月11日（土）
開催場所	広島市安芸区矢野町
観客数	未集計

次点

第26回
ふるさとイベント大賞

祐徳門前商店街イベント
さが祐徳eスポーツ大会

日本三大稲荷神社の一つに数えられる祐徳稲荷神社は、年間300万人以上の参拝者を誇る佐賀県内有数の観光地です。この祐徳稲荷神社のお膝元に位置する祐徳門前商店街も多くの参拝者や観光客をもてなすにぎわいある商店街です。しかし、令和2年初めから流行した新型コロナウイルス感染症の流行拡大による観光客数の激減や令和2年7月佐賀豪雨でいくつもの商店が被災し、商店街は落胆の雰囲気に包まれました。



この雰囲気をeスポーツで変えたいと商店街の若者を中心に「さが祐徳eスポーツ協会」を立上げました。なぜeスポーツかと言うと、平成30年に開催された「第1回全国高校eスポーツ選手権」で地元にある佐賀県立鹿島高校のチームが優勝したからです。地元の高校生が全国大会で優勝できるeスポーツなら商店街を盛り上げる事ができると思いました。

ゲームのタイトルは、神社の品位を落とさない事と老若男女誰でもできる『太鼓の達人』に決めました。大会開催の資金については、市からの補助金もいただきましたが、足りない部分はビジネスコンテストに挑戦したり、クラウドファンディングで資金調達を行いました。



ビジネスコンテストでは優勝こそできませんでしたが、そこで出会ったeスポーツ界の方々からクラウドファンディングを通して支援をいただけたことが大変励みになりました。また、クラウドファンディングの返礼品に商店街の商品や特産物をお送りしたことも、いろいろな人に祐徳門前商店街を知ってもらう契機となりました。

また、大会会場は、商店街の空き店舗を活用し商店街のにぎわい作りにも貢献できたかと思います。

コロナ禍での開催でしたが、佐賀県内だけでなく県外企業、大学からの参加もありました。これは、佐賀県鹿島市を知っていただくだけでなく集まったeスポーツプレイヤーの交流の場にもなり商店街の活性化につながったと思います。







次回開催日程

■開 催 日：未定
■開催場所：佐賀県鹿島市
■問い合わせ先
・団体名
さが祐徳eスポーツ協会
・住所
祐徳門前商店街（佐賀県鹿島市古枝甲1652番地1）
・MAIL：saepo2020@gmail.com
・URL：https://www.facebook.com/SAEPO2020/

開催DATA

自治体名	佐賀県鹿島市
自治体人口	28,253人 ※2021年12月末現在の住民基本台帳人口
主催団体	さが祐徳eスポーツ協会
開催回数	1回
開催日	2021年3月13日（土）
開催場所	祐徳門前商店街（佐賀県鹿島市古枝甲1652番地1）
観客数	未集計







まじめ
えひめ

まじめにHP公開中＼ majime-ehime.com

地域づくり5月号 特集編（通巻395号） 令和3年度ふるさとイベント大賞 令和4年5月1日 一般財団法人 地域活性化センター発行

宝くじは、みんなの暮らしに役立っています。

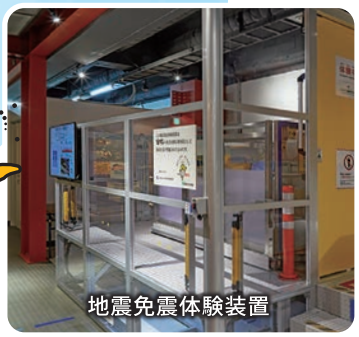

移動採血車


ユニバーサルデザイン施設
ピクニックテーブル


一輪車


宝くじ桜


こどもの国 ふれあい学び館


地震免震体験装置


星空観察映像展示施設


ドリームジャンボ絵本


消防団防災学習・災害活動車両


テント


総合検診車


フラワープランター

宝くじは、図書館や動物園、学校や公園の整備をはじめ、
災害に強い街づくりまで、みんなの暮らしに役立っています。

あなたに夢を。街に元気を。
クーちゃん 宝くじ

一般財団法人日本宝くじ協会は、宝くじに関する調査研究や
公益法人等が行う社会に貢献する事業への助成を行っています。

一般財団法人
日本宝くじ協会
https://jla-takarakuji.or.jp/